

消 防 年 報

令 和 6 年 度 版

銚子市消防本部

は　じ　め　に

この年報は令和５年中の銚子市における消防現況及び足跡を収録し、今後の効率的な消防行政の運営に資するとともに、本市消防の概要を消防関係者はもとより広く一般に紹介するために編集したものであります。

なお、収録の統計資料は原則として暦年の統計をもって表し、予算等に関係ある事項については会計年度により作成しました。

令和６年７月

銚子市消防本部

目 次

概 要

管内情勢	1
消防の沿革	3

総 務

銚子市消防分布図	9
銚子市消防の組織図	1 0
消防本部事務分掌	1 1
本部、署の位置・庁舎の状況	1 3
消防職・団員	1 4
(1) 階級別消防職員	1 4
(2) 階級別消防団員	1 4
(3) 消防職員配置表	1 4
(4) 消防職員階級別年齢調	1 5
(5) 消防職員階級別勤続年数	1 6
(6) 消防職員各種資格取得状況	1 6

予算・決算

(1) 一般会計予算と消防予算	1 7
(2) 年度別消防当初予算に対する住民の平均負担額	1 7
(3) 年度別消防費（当初）節別内訳	1 8

予 防

広報活動状況	2 0
予防関係各種届出等状況	2 0
消防法に定める防火対象物の数	2 1

危険物規制対象	2 2
(1) 危険物製造所等の数	2 2
(2) 危険物施設の許可完成検査等の数	2 2
消防法に定める消防同意	2 3
(1) 月別消防同意件数	2 3
(2) 年別消防同意件数	2 3
(3) 年別、業態別消防同意件数	2 4

警 防

車両等の配置状況	2 5
配置車両等の内訳（本部・署）	2 6
消防団人員・車両等配置表	2 7
配置車両等の内訳（団）	2 8
消防水利	3 1
公設消火栓取付配水管口径及び口数	3 1
防火水槽容量	3 1
市内中高層建築物一覧表	3 2

火 災 統 計

(1) 年別火災概要	3 4
(2) 月別、種別毎の損害見積額	3 4
(3) 火災前年比較	3 5
(4) 建物焼損棟数面積	3 6
(5) 年別火災原因別件数	3 6
(6) 過去 5 年間町内別火災発生状況	3 7
(7) 過去 5 年間業種別火災発生件数	3 9
(8) 出火原因別、時間別調査表	4 0
(9) 原因別火災発生順位	4 1

救急・救助

救 急

(1) 年別救急活動状況	4 2
(2) 月別救急活動状況	4 2
(2)-1 本署救急隊活動状況	4 3
(2)-2 東部救急隊活動状況	4 3
(2)-3 西部救急隊活動状況	4 4
(2)-4 本署第二救急隊活動状況	4 4
(2)-5 救急支援活動状況	4 5
(3) 事故別救護状況	4 6
(4) 曜日別発生状況	4 6
(5) 年齢別搬送人員状況	4 7
(6) 時間別救急出動状況	4 8
(7) 救急病院	4 8

救 助

(1) 年別救助活動状況	4 9
(2) 救助活動状況	5 0

災 害

銚子市災害年表	5 2
---------	-----

概

要

管内情勢

1. 位置、気候

本市は東京から約100km、関東平野の最東端、東経140度49分、北緯35度44分に位置している。西は市内宮原、諸持、笹本、豊里台、森戸、小長の各町をもって県内香取郡と接し、同じく市内森戸、小長、猿田、茶畑、白石、八木、小浜の各町をもって旭市と隣接している。北は利根川を隔てて茨城県神栖市と対し、南及び東は太平洋を臨み、三面が水に囲まれ気候は四季を通じておおむね温暖である。

2. 地形、地質

銚子市の地勢は利根川沿いの低地と西部、南部の下総台地、また半島東の古い地塊から成っている。下総台地は香取郡より旭市に延びて、当市西部地域の豊里、船木台地となり、また旭市より市南部の豊岡、三崎台地に連なり、その南端は屏風ヶ浦の絶壁となって太平洋に没している。銚子市は、およそ平坦地で最も高い所で海拔73.6mの愛宕山である。また下総台地は30mから50mぐらいの台地で表面は関東ローム層である。なお半島の古い地塊には、2億年前の古生代後期、二畳紀から各時代の地質、地塊が豊富に見られ、古生代の海棲生物で学問的に貴重な紡錘虫の化石なども多く発見されて、“地質研究の宝庫”と呼ばれている。平成24年9月には、関東平野の地下にある地層が海岸で観察できる屏風ヶ浦などが日本ジオパークに認定された。

3. 沿革の概要

銚子は関東最古の地質をもって構成され、いち早く人の住むところとなったと思われ石器時代縄文式文化の顕著な遺跡もいくつか発見されている。往時鎌倉執政の初め房総の大族千葉氏の一族海上氏の領有になり子孫が各所に繁栄した。古刹飯沼観音が坂東札所となり門前町ができたのもそのためで、銚子市街の緒についたのも大体この頃とみられる。海上氏の約400年の支配後、天正18年に徳川家康の関東入国によって銚子地方の大部分は松平伊昌の支配となり、およそ百年余に及んだ。銚子地方の中心部が高崎藩の所領となったのは享保2年で江戸時代の銚子は高崎藩の飛び地としてその豊富な海産物によって「高崎藩の宝庫」と言われた。また利根川の水運がひらかれるとともに東北廻船の要港となる一方、紀州からの来銚者が漁業の開発、醤油醸造に成功し、「魚と醤油の町」として有名となり、利根川河口の商港として関東屈指の町に発展し「江戸の台所」として栄えた。徳川氏の大政奉還後は高崎藩市庁の所管となり、明治4年廃藩置県によって新治県に属し、のち千葉県を設置とともにこれに編入された。そして同22年市町村制度の実施に伴い、海上郡本銚子町、銚子町、伊豆原村（24年西銚子町と改称）、豊浦村、高神村、海上村の2町4ヶ村に

改められた。昭和8年2月11日本銚子町、銚子町、西銚子町、豊浦村の3町1ヶ村が合併して人口4万3千人余となり、市制が施行され千葉市に次ぐ2番目の都市となった。更に、12年2月には高神、海上の隣接2ヶ村を合併し29年4月隣村船木、椎柴を新たに合併し、続いて30年2月香取郡豊里村を加える。31年4月豊岡村が合併されたが、その後32年4月豊岡村の一部（塙、八木新田）が分離し、更に33年8月隣接海上郡の一部（高野、茶畑、曲橋、三番割）が市に編入され面積83.59㎢、人口9万2千を超える東総第一の都市となり、37年には銚子大橋が開通、44年に小浜工業団地造成が完了。46年11月には銚子漁港運河が開通して49年12月銚子有料道路全線開通する等、漁港の整備、工業団地の造成等産業的特質に基づいた食品都市及び東総地域の中核都市としての発展に確実な歩みを進めている。

平成3年6月、銚子漁港を眼下に臨む場所に、海をテーマとした展示ホール、海鮮レストランを併設した「ポートタワー」と、それに隣接して設置された水産物卸売センター「ウオッセ21」は、リゾート整備に対応して造られた新しい銚子の水産観光拠点である。

また、平成12年3月18日、市内小船木町と鹿島郡波崎町矢田部を結ぶ「利根かもめ大橋」が開通し、西部地区の活性化が期待されている。

平成12年12月、新世紀のスタートにふさわしい新総合計画基本構想「銚子ルネッサンス2025」を制定し、都市づくりの目標を「ひとがときめき、海がきらめき、未来輝く都市」と定め、新しい時代に適応した魅力あるまちづくりを目指している。

平成16年4月、銚子市活性化の起爆剤として期待されている「千葉科学大学」が開学し、文教のまちづくりとしてのスタートを切った。

平成28年、「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として、佐倉・成田・佐原・銚子の四都市が、日本遺産に認定される。この四都市は江戸との交流の中で、江戸の影響を受けながらも、城下町の佐倉、門前町の成田、商家町の佐原、港町の銚子という特色ある独自の発展をとげ、江戸時代から変わらない町並みと、伝統文化を引き継いでいる。

4. 管内面積・人口等

令和6年4月1日現在

面 積	84.12 ㎢
広 ば う	東 西 16.20 km
	南 北 12.80 km
人 口	54,646 人
世 帯 数	26,717 世帯

消 防 の 沿 革

明20.	1.	10	田中玄蕃、私設のヒゲタ消防組を設置（銚子消防の創始）
明29.	8.		浜口儀兵衛、私設ヤマサ消防組を設置
明43.	1.		海上村消防組を設置
明44.	5.	1	西銚子町消防組を設置
大 5.			消防組数5組の陣容（高神村消防組444人、3組に別る。西銚子町消防組220人で3組に別る。海上村消防組305人で5組に別る。ヒゲタ消防組211人で3組に別る。ヤマサ消防組254人で4組に別る。）ヤマサ、ヒゲタの消防組に蒸気ポンプ、他の組に腕用ポンプを配備
大13.	4.	1	銚子町、本銚子町に消防組を設置（大正12年9月1日の関東大震災に際し火災による被害の甚大なるに刺激された町民の世論に端を発し設置）
昭 8.	2.	11	市制施行（海上郡銚子町、本銚子町、西銚子町、豊浦村を合併）銚子町、本銚子町、西銚子町、豊浦村の4消防組を合併して銚子市消防組を設置
	2.		千葉県知事より優良金馬簾を授与される
昭11.	11.		消防組本部に常備班を設置、班長（小頭）1名、班員（消防手）6名の計7名及びポンプ自動車1台を配置し業務開始
昭12.	2.	11	海上郡高神村、海上村を市に編入。高神村、海上町の消防組を併合
	3.	12	千葉県知事より優良金馬簾を授与される
昭14.	4.	1	警防団令公布、施行と同時に消防組と自主的に設置されていた防護団とを統合して銚子市警防団（団本部及び旧6ヶ町村に各1ヶ分団、ほかに水上分団を以て編成し各分団に消防、警護、救護の3部を設ける。）を組織 消防組常備班を警防団本部常備部と改称
昭22.	8.	24	昭和22年4月30日消防団令公布施行（勅令消防団）により警防団を消防団に改組（消防団本部、常備消防部及び6ヶ分団26部を以て組織）消防団長に椎名隆氏が就任
昭23.	7.	24	消防組織法（法律187号）の一部改正が公布施行、消防団令を廃止（政令178号）
昭24.	1.	1	消防本部、消防署を設置、消防長に加瀬道之助氏が就任（市長兼任） 本部に職員10人、消防署に職員26人、水槽付ポンプ自動車1台、ポンプ自動車3台、予備車1台を配置
	4.	6	千葉県知事より優良竿頭綬を授与される
	8.	25	銚子市職員定数条例告示、消防職員50人（昭和24年7月1日適用）
昭25.	3.	7	千葉県知事より優良竿頭綬を授与される
	4.	1	消防職員5名増員、定数55名
	6.	8	火災防ぎょ活動顕著により千葉県知事表彰される
	8.	11	消防庁長官より表彰状及び竿頭綬を授与される
昭26.	4.	1	消防長に嶋田隆氏が就任（市長兼任）

昭26.	4.	1	本署に救急自動車1台を配置し救急業務を開始
昭28.	2.	10	松岸町に海上分遣所を設置（職員8人、ポンプ車1台を配置）
	3.	7	千葉県知事より優秀表彰旗を授与される
	8.	16	消防団長に嶋田隆氏が就任（市長兼任）
昭29.	4.	1	海上郡船木村、椎柴村を市に編入、船木、椎柴両村消防団を市消防団に併合
	11.	17	消防職員10名増員、定数65名
	12.	9	消防長に小川義雄氏が就任
			消防団長に佐藤信平氏が就任
	12.	18	橋本町に東部分遣所を設置（木造モルタル塗2階建・79㎡）し、20日から業務を開始 （職員19人、水槽付ポンプ自動車1台、ポンプ自動車1台を配置）
昭30.	2.	11	香取郡豊里村、旭市の一部（椎柴野の区域）を市に編入、豊里消防団を市消防団に併合
	3.	3	天王台に高神分遣所を設置（職員8人、ポンプ自動車1台を配置）
	11.	15	消防団に顧問を置く
昭31.	4.	10	海上郡豊岡村を市に編入、豊岡村消防団を市消防団に併合
	5.	14	香取郡東庄町と消防応援協定を締結
	8.	24	消防団の機構改革により4方面隊49ヶ分団に編成
	8.	25	消防団長に嶋田隆氏が就任（市長兼任）
昭32.	6.	13	銚子市危険物安全協会（会員40名）発足
	6.	26	消防職員2名増員、定数67名
昭33.	3.	26	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車が寄贈される
昭34.	4.	1	消防職員8名増員、定数75名
昭35.	3.	17	野尻町に西部分遣所を設置（職員8人、ポンプ自動車1台を配置）
	4.	1	消防職員5名増員、定数80名
昭36.	4.	7	消防長に小川重夫氏就任
昭37.	8.	24	消防団の機構再編により方面隊を廃止、旧町村ごとに各地区隊制を採用し9地区隊 50ヶ分団に編成
	9.	4	銚子市防火管理者協会（会員114名）発足
	10.	15	消防団長に永島竹松氏が就任
昭38.	10.	1	消防団長に森田幸七氏が就任
昭39.	3.	7	消防庁長官より優良表彰旗を授与される
	9.	2	銚子ライオンズクラブより人工蘇生器が寄贈される
昭40.	2.	5	消防団長職務代理に青柳与継氏が就任
	3.	1	火災現場出場途上、自動車事故により消防職員2名が殉職
	7.	19	千葉県広域消防応援協定を締結
	8.	24	消防団長に田辺清氏が就任
	10.	5	火災現場出場途上、自動車事故により消防団員1名が殉職
昭41.	9.	1	茨城県鹿島郡波崎町と消防応援協定を締結

昭41.	11.	25	銚子市消防設備士協会（会員80名）を発足
昭43.	8.	24	消防団長に上総茂氏が就任
	11.	2	銚子ライオンズクラブより救急自動車が寄贈される
	12.	13	本署に屈折はしご付消防ポンプ自動車を配置
	12.	20	消防職員4名増員、定数84名
昭44.	4.	1	消防団の機構再編により地区隊を廃止、分団制とし9ヶ分団50部とする
	10.	1	千葉県東総地区（銚子市、旭市、八日市場市、海上町、飯岡町、野栄町、光町）消防 応援協定を締結
昭45.	4.	1	消防団の機構再編により定員を861人から721人とする
	4.	25	茨城県鹿島南部地区と消防応援協定を締結
	10.	1	消防職員2名増員、定数86名
	12.	26	銚子ロータリークラブより指揮車が寄贈される
昭46.	9.	1	消防本部、消防署庁舎新築（鉄筋コンクリート造3階建、1,259㎡） 東部分遣所を廃止し本署に統合。指令装置を本署通信指令室に設置し、業務を開始。
	11.	1	消防本部の機構改革により本部に総務、予防、警防の3課を置く
	11.	18	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車が寄贈される
昭47.	9.	8	内閣総理大臣、消防庁長官より災害活動功労により表彰状を授与される
	10.	1	消防団の運営合理化により定員を631人とする 消防長に並木正一氏が就任
昭48.	3.	6	消防団長に増田義祐氏が就任
	4.		岩井興産（株）より水難救助用救命ボートが寄贈される
昭49.	2.	6	銚子海上保安部と消防に関する業務協定を締結
	5.		カナヤ食品より救助用可搬式ウインチ及び空気呼吸器一式が寄贈される
昭50.	2.	1	クリハシ百貨店（株）より査察広報車が寄贈される
昭51.	2.	25	千葉県共済農業協同組合連合会より救急車が寄贈される
	3.	6	消防団長に塙嘉七氏が就任
	4.	1	消防長に大竹良之助氏が就任
	5.	28	火災問い合わせテレホンサービスを開始、市民広報に活用する
昭53.	3.	31	高神分遣所を新築（補強ブロック造平家建、87.48㎡） 救急医療システムの端末装置を設置し、救急業務の円滑を図る
	4.	1	消防長に本部次長酒井清氏が就任
昭54.	11.	19	本署に32mはしご付消防ポンプ自動車を配置
昭55.	4.	1	消防職員6名増員、定数92名
昭56.	3.	6	山之内製薬（株）より救急車が寄贈される
昭57.	3.	6	消防団長に鈴木勝夫氏が就任
昭58.	3.	15	海上分遣所庁舎を移転新築（鉄筋コンクリート造2階建、191.19㎡）
昭60.	1.	24	本署にⅡ型化学消防ポンプ自動車を配置
	4.	1	消防長に滑川英雄氏が就任

昭60.	9. 30	日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車が寄贈される
昭61.	3. 27	日本自動車工業会より救急車が寄贈される
昭62.	1. 16	西部分遣所にC D－I 型ポンプ自動車（四輪駆動）を配置
	2. 26	通信指令室を改修し、消防・救急指令装置（Ⅱ型）、無線基地局等を更新整備
	4. 1	消防長に相田清次氏が就任
	9. 1	六都県市合同防災訓練千葉県会場を銚子市で開催
昭63.	3. 30	西部分遣所庁舎を移転新築（鉄筋コンクリート造2階建、231.55㎡）
平 1.	4. 1	消防団長に北村和男氏が就任
平 2.	2. 28	本署にⅡ型救助工作車を配置
	3. 1	西部分遣所に救急車を配置、救急業務を開始
	4. 1	消防職員4名増員、定数96名
	10. 31	緊急通報システム運用開始
平 3.	2. 13	本署にⅠ-B型水槽付ポンプ自動車（動力ホースカー付）を配置
	3. 11	日本消防協会より表彰旗を授与される
	4. 1	消防長に本部次長保永欣也氏が就任
		消防職員2名増員、定数98名
	11. 14	気象観測装置を整備
平 4.	3. 23	高神分遣所にC D－I 型ポンプ自動車（はしご動力昇降装置付）を配置
	4. 1	消防職員4名増員、定数102名
	6. 24	銚子市防火管理者協会、危険物安全協会、消防設備士協会の三協会を統合し、銚子市防火安全協会（会員508名）を発足
平 5.	3. 22	本署に2-B救急車（防震ストレッチャー・応急処置拡大装備品積載）を配置
	4. 1	消防職員8名増員、定数110名
	6. 5	消防団長職務代理に宮本康夫氏が就任
	7. 1	消防団長に宮本康夫氏が就任
	8. 6	日本防火協会より防火広報車が寄贈される
平 6.	1. 25	海上分遣所にⅠ-B型水槽付ポンプ自動車（乗車式動力ホースカー付）を配置
	4. 1	消防長に本部次長高木定治氏が就任
平 7.	3. 3	本署に高規格救急車を配置
	10. 1	救急救命士業務の運用を開始
	12. 14	本署にC D－I 型ポンプ自動車を配置
平 8.	4. 1	消防職員6名増員、定数116名
	4. 27	本署に組立鉄骨パイプ式訓練塔（W5.5m・D4.1m・H10m）を設置
	5. 30	銚子婦人防火クラブ（クラブ員152名）発足
	10. 1	銚子市消防本部消防職員委員会を設置
	12. 19	西部分遣所にC D－I 型ポンプ自動車を配置
平10.	4. 1	消防長に本部次長田辺富美男氏が就任
平11.	3. 26	西部分遣所に高規格救急車を配置

平11.	11.	4	消防団が第30回県民の消防団体の部で表彰
平12.	1.	26	本署にⅡ型化学消防ポンプ自動車を配置
	4.	1	消防長に徳元弘氏が就任
	11.	25	本署に32mはしご付消防自動車を配置
平13.	4.	1	消防団長に室井房治氏が就任
平14.	1.	24	本署にC D－Ⅰ型ポンプ自動車を配置
	3.	9	消防団長職務代理に芝岸弘氏が就任
	4.	1	消防長に本部次長美藤宏文氏が就任
			消防団長に芝岸弘氏が就任
	7.	1	消防隊による救急支援活動を開始
平15.	1.	30	本署に高規格救急車を配置
	4.	1	消防長に合六司氏が就任
平16.	2.	27	本署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を配置
平17.	4.	1	消防長に本部次長羽根川一男氏が就任
			消防団の機構改革により9ヶ分団50部を9ヶ分団41部に再編し、定員631名から519名とする
平18.	3.	24	高機能消防指令センター運用開始
平19.	4.	1	海上分遣所に救急車を配置、救急業務を開始
平20.	3.	21	本署に災害対応特殊救急自動車を配置
	4.	1	消防長に本部次長佐藤信雄氏が就任
平22.	2.	3	本署に救助工作車（Ⅱ型）を配置
	4.	1	消防長に本部次長飯森利兵衛氏が就任
平23.	1.	12	日本消防協会より銚子市消防団へ、消防団多機能型車両が交付される
	1.	21	本署に高規格救急車を配置
	3.	22	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊千葉県隊として福島県へ出動する
～	4.	13	（第4次・第5次・第8次・第9次派遣隊 救急部隊・後方支援部隊 総員25名）
	10.	1	消防長に溝口光男氏が就任
	10.	26	千葉県知事より緊急消防援助隊出動功労による表彰状を授与される
	11.	9	総務大臣より緊急消防援助隊出動功労による表彰状を授与される
平24.	3.	26	本署にC D－Ⅰ型ポンプ自動車を配置
	4.	1	銚子市消防団機能別消防団員制度が開始され、定員519名から579名とする
	10.	1	消防長に岡根悟氏が就任
	12.	20	ちば消防共同指令センターへ119番の切替を実施 （併せて消防救急デジタル無線の運用を開始）
平25.	4.	1	消防長に本部次長宮内忠氏が就任
			ちば消防共同指令センター運用開始
平26.	2.	17	総務大臣より消防団員を増加させた団体として感謝状を授与される
	3.	24	本署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－B型）を配置
平27.	3.	10	西部分遣所に災害対応特殊救急自動車を配置

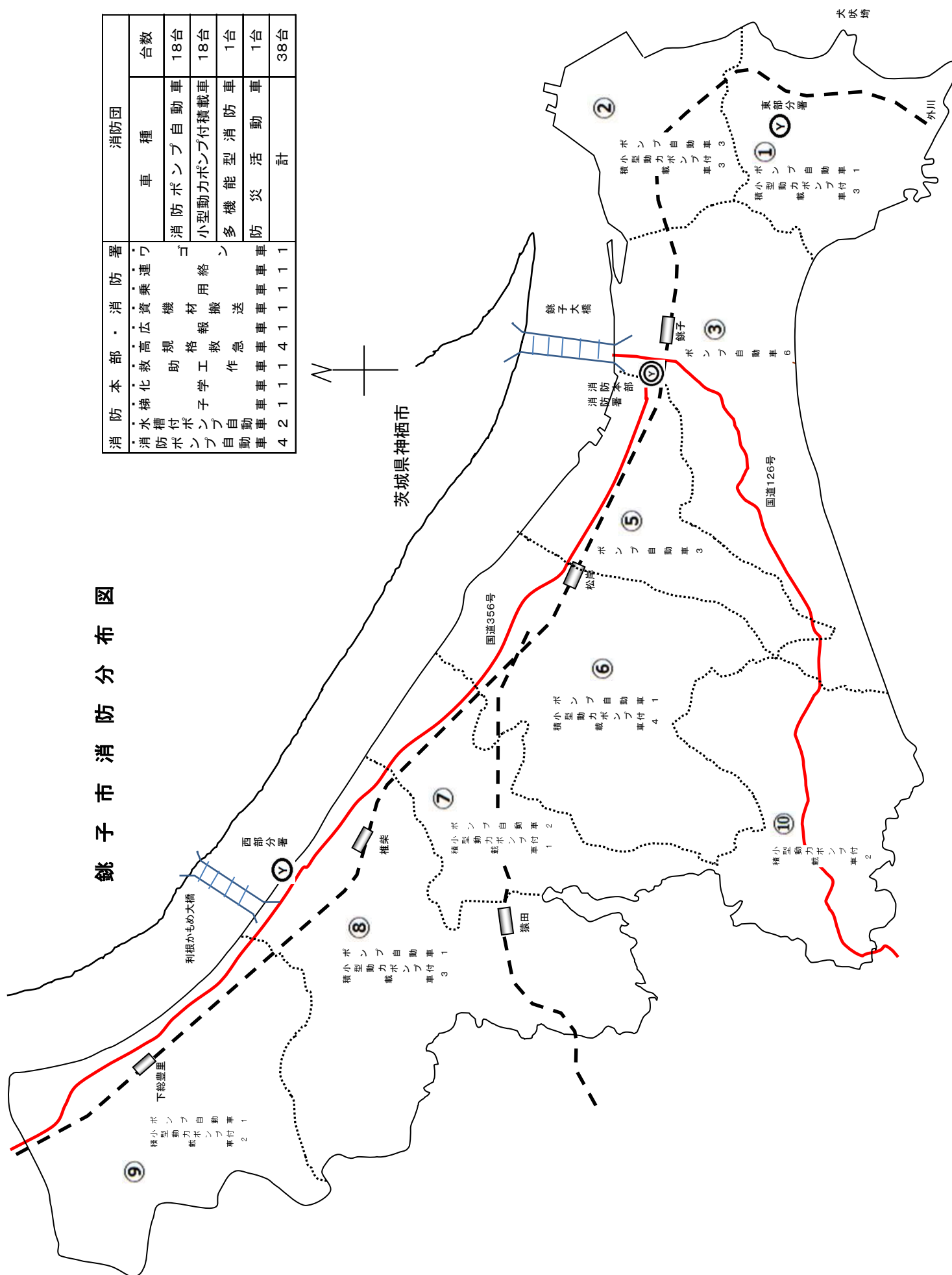
平27.	4.	1	消防長に本部次長加藤和美氏が就任 総務課と警防課を統合し、消防総務課に改編する
	9.	1	9ヶ分団41部を10ヶ分団38部に再編する 休部3部（2-5・8-3・8-6）を廃部、消防団組織を改編し、 女性・学生からなる第11分団を設立
平28.	4.	1	消防長に本部次長山口昌一郎氏が就任 女性消防職員の採用を開始（1名）
	12.	27	本署に資機材搬送車を配置
平29.	1.	24	新消防庁舎完成 業務開始 庁舎棟：鉄筋コンクリート造3階建・2,403.73㎡ 公用車車庫棟：鉄骨造平家建・155.99㎡ 高層訓練塔：鉄筋コンクリート造5階建・247.19㎡、 低層訓練塔：鉄筋コンクリート造2階建・140.00㎡
	4.	1	消防長に本部次長菅澤信博氏が就任
	11.	29	日本消防協会より銚子市消防団へ、防災活動車両が交付される
平30.	1.	9	本署にCD-I型ポンプ自動車を配置
	2.	21	西部分遣所に車庫棟を新築（鉄骨造平家建、60.00㎡）
	6.	22	銚子市消防署東部分署を新築 庁舎棟：鉄筋コンクリート造2階建・502.79㎡
	9.	25	消防署所再編完了 銚子市消防署東部分署・西部分署業務開始
	11.	2	東京都港区在住の飯島豊氏より銚子市消防署へ、高規格救急自動車が寄贈される
平31.	3.	20	西部分署にCD-I型ポンプ自動車を配置
令元.	10.	25	台風21号による豪雨被害に伴い、千葉県消防広域応援隊として茂原市へ出動する
	～ 10.	26	（救助隊 1隊5名）
令 2.	12.	18	東部分署に災害対応特殊救急自動車を配置
令 3.	4.	1	消防長に本部次長田向順一氏が就任
令 4.	3.	14	本署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（I型）を配置
	4.	1	消防長に本部次長土屋心一氏が就任 銚子市職員定数条例一部改正、消防職員定数108名
令 5.	4.	1	銚子市消防団条例一部改正、消防団員定数555名
	10.	1	銚子市消防団条例一部改正、消防団員定数517名
令 6.	3.	12	西部分署の長寿命化に伴う大規模改修 西部分署車庫棟に救急消毒室及び器材庫を増築（鉄骨造平家建、20.3㎡）
	3.	18	消防本部に広報車を配置
	4.	1	銚子婦人防火クラブから銚子女性防火クラブへ名称変更する

総

務

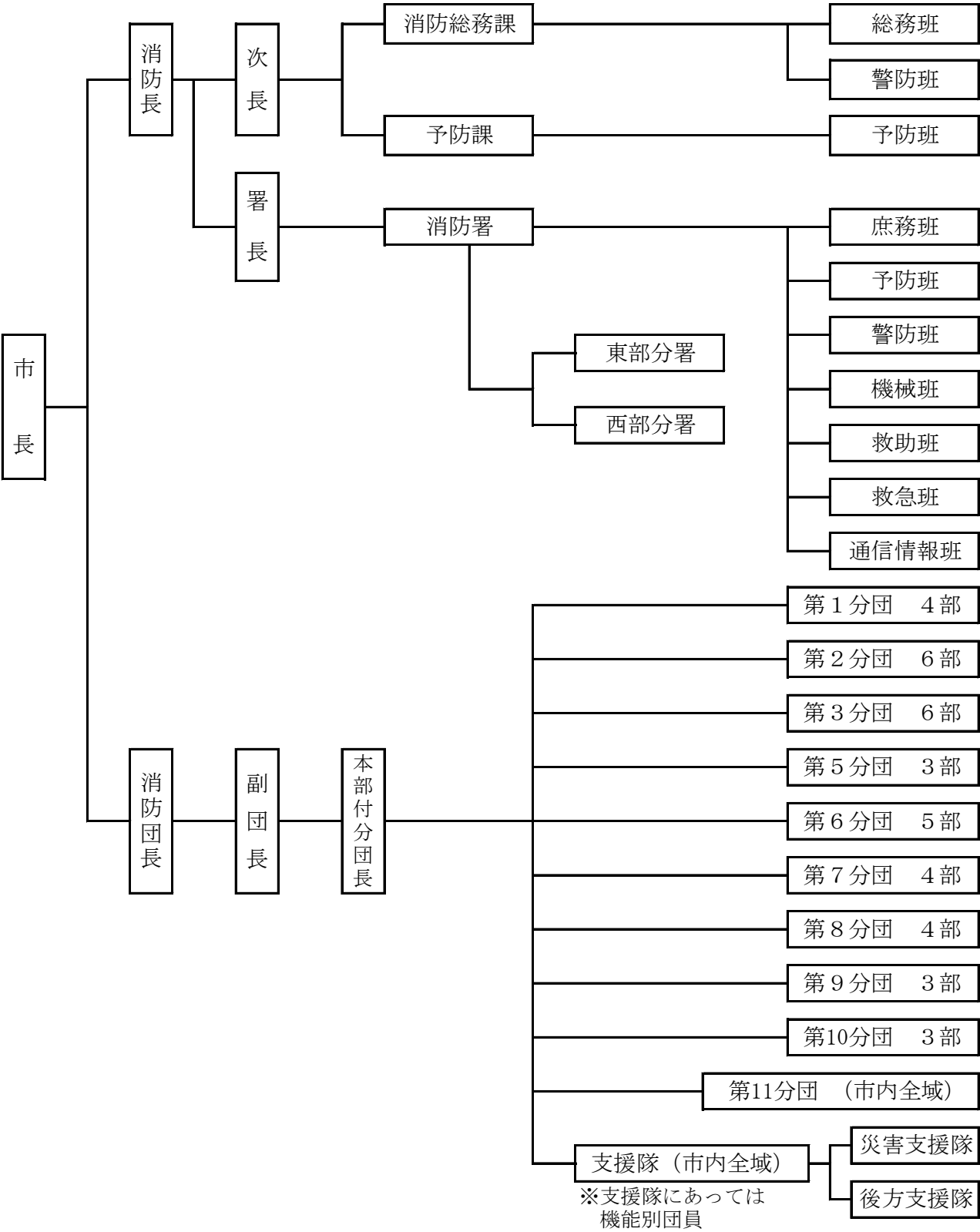
圖 布 分 防 市 子 鉅

消防本部・消防署	消防団	台数
消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	18台
消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	18台
消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	1台
消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	1台
消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	38台



銚子市消防の組織図

令和6年4月1日



消 防 本 部 事 務 分 掌

消防総務課

総 務 班

- (1) 文書の收受、発送及び編さん保存に関する事。
- (2) 公印の管守に関する事。
- (3) 消防関係組織及び人事に関する事。
- (4) 消防本部の運営に関する事。
- (5) 消防職員の任免、給与、服務、教養、訓練及び試験に関する事。
- (6) 消防関係表彰に関する事。
- (7) 消防用財産の管理に関する事。
- (8) 消防予算及び経理に関する事。
- (9) 消防職員の福利厚生に関する事。
- (10) 貸与品及び物品の出納保管に関する事。
- (11) 消防職員の公務災害に関する事。
- (12) 消防本部消防職員委員会に関する事。
- (13) 銚子市情報公開条例に基づく公文書の開示請求等に関する事。
- (14) 銚子市個人情報保護条例に基づく個人情報の開示請求等に関する事。
- (15) 他の主管に属しない事。

警 防 班

- (1) 消防施設の整備保存に関する事。
- (2) 消防機械器具の整備及び改善に関する事。
- (3) 消防の相互応援に関する事。
- (4) 救急業務の高度化推進に関する事。
- (5) 消防団に関する事。
- (6) 日本消防協会及び千葉県消防協会に関する事。
- (7) 消防団員の公務災害に関する事。
- (8) ちば消防共同指令センターに関する事。

予 防 課

予 防 班

- (1) 水火災等の予防及び防火思想の普及啓蒙に関すること。
- (2) 予防査察及び危険物の規制に関すること。
- (3) 防火避難訓練の立案指導に関すること。
- (4) 防火管理に関すること。
- (5) 建築物の同意事務に関すること。
- (6) 火災原因及び損害調査並びに統計報告、通報に関すること。
- (7) 罹災証明願等に関すること。
- (8) 消防用設備等の設置指導に関すること。
- (9) 危険物取扱者試験事務に関すること。
- (10) 銚子市防火安全協会事務に関すること。
- (11) 銚子女性防火クラブ事務に関すること。
- (12) その他予防消防に関すること。

本部、署の位置・庁舎の状況

区分 署所別	所 在 地	構 造	面 積 (㎡)		設置年月日
			敷 地	建物(延)	
消 防 本 部	銚子市唐子町 3 7 1 - 2	鉄筋コンクリート造	4,794.25	2,403.73	昭和 2 4 年 1 月 1 日 (平成 2 9 年 1 月 2 4 日) 移転新築
消 防 署		3 階建			
公用車車庫棟		鉄骨造 平家建		155.99	平成 2 9 年 1 月 2 4 日
低層訓練塔		鉄筋コンクリート造 2 階建		140.00	
高層訓練塔		鉄筋コンクリート造 5 階建		247.19	
東 部 分 署	銚子市小畑町 7 3 3 4 - 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,216.14	502.79	平成 3 0 年 9 月 2 5 日
西 部 分 署	銚子市野尻町 1 8 3 4 - 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	501.89	231.55	昭和 3 5 年 3 月 1 7 日 (昭和 6 3 年 3 月 3 0 日) 移転新築
(車庫)	1 8 3 3 - 3	鉄骨造 平家建	435.68	80.30	平成 3 0 年 2 月 2 1 日

消 防 職 ・ 団 員

本部、署の位置・庁舎の状況

(1) 階級別消防職員

令和6年4月1日現在

区 分	階級別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
		階級別内訳なし							
定	数								108
実	数	1	3	14	52	18	-	20	108

(2) 階級別消防団員

令和6年4月1日現在

区 分	階級別	団 長	副 団 長	本分 部団 付長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
定	数	1	4	4	9	10	33	66	390	517
実	数	1	4	80.30	9	10	31	62	249	446.3

(3) 消防職員配置表

令和6年4月1日現在

区 分	階級別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	消 防 総 務 課		1	2	6	2			11
	予 防 課			1	4				5
	小 計	1	2	3	10	2			18
消 防 署	本 署		1	7	23	12		15	58
	東 部 分 署			2	9	3		2	16
	西 部 分 署			2	10	1		3	16
	小 計		1	11	42	16		20	90
合 計		1	3	14	52	18	-	20	108

(4) 消防職員階級別年齢調

令和6年4月1日現在

階級別 年齢別	消 防 監	消 司 令 防 長	消 司 防 令	消 司 令 防 補	消 士 防 長	消 副 士 防 長	消 防 士	計
合 計	1	3	14	52	18		20	108
平均年齢	59.0	57.0	53.6	45.2	31.7		22.8	40.3
18 歳							2	2
19 歳								
20 歳							1	1
21 歳							3	3
22 歳							3	3
23 歳							1	1
24 歳							3	3
25 歳							6	6
26 歳					1		1	2
27 歳					2			2
28 歳								
29 歳					2			2
30 歳					2			2
31 歳					2			2
32 歳					1			1
33 歳					1			1
34 歳					4			4
35 歳				2	1			3
36 歳				1	1			2
37 歳				3				3
38 歳				2	1			3
39 歳				1				1
40 歳				5				5
41 歳				3				3
42 歳				3				3
43 歳				2				2
44 歳				1				1
45 歳				5				5
46 歳				3				3
47 歳				3				3
48 歳			2	2				4
49 歳				4				4
50 歳								
51 歳			1	4				5
52 歳			1	3				4
53 歳			1	2				3
54 歳			2					2
55 歳		1	3					4
56 歳			3					3
57 歳		1	1					2
58 歳				1				1
59 歳	1	1		1				3
60 歳				1				1
61 歳								
62 歳								
63 歳								
64 歳								
65 歳								

(5) 消防職員階級別勤続年数

令和6年4月1日現在

階級別 年 数	消 防 監	消 司 令 防 長	消 司 防 令	消 司 令 防 補	消 士 防 長	消 副 士 防 長	消 防 士	計
5 年 未 満					1		17	18
5年以上～10年未満					7		3	10
10年以上～15年未満				6	6			12
15年以上～20年未満				8	4			12
20年以上～25年未満				7				7
25年以上～30年未満			1	13				14
30 年 以 上	1	3	13	18				35
計	1	3	14	52	18		20	108

(6) 消防職員各種資格取得状況

令和6年4月1日現在

階級別 資格種別	消 防 監	消 司 令 防 長	消 司 防 令	消 司 令 防 補	消 士 防 長	消 副 士 防 長	消 防 士	計
自動車免許	大 型	1		8	26	5		40
	中 型				10	9	4	23
	中型（8 t 限定）		3	6	16	1		26
	準 中 型					3		3
	準中型（5 t 限定）						2	2
	普 通						14	14
乙種危険物取扱者	1 類		1	1	1	2		5
	2 類			1	1	2		4
	3 類			1	6	5		12
	4 類		1	4	29	18	13	65
	5 類			1	1	2		4
	6 類			1	1	2		4
丙種危険物取扱者		1	3	19	1		1	25
陸上特殊無線技士	1	3	13	53	18		13	101
衛生管理者		1		1				2
二級小型船舶操縦	1	1	1	6	2			11
潜水士				7	5		5	17
救急科Ⅰ課程	1		1					2
救急科Ⅱ課程			1					1
救急科標準課程（救急科）		1	3	31	11		2	48
救急救命士		1	3	9	7		2	22
応急手当指導員	1	2	13	53	18		13	100
アーク溶接技能講習修了者			1	6				7
クレーン運転技能講習修了者		1	6	23	4			34
玉掛技能講習修了者		1	6	20	3		3	33
ガス溶接技能講習修了者	1		4	13				18
可搬消防ポンプ整備				1				1

予 算 ・ 決 算

予 算 ・ 決 算

(1) 一般会計予算と消防予算

(単位 千円)

区分 年度		一 般 会 計 予 算	消 防 予 算	比 率
2 年 度	当 初	27,628,000	975,830	3.5
	決 算	34,747,578	1,181,190	3.4
3 年 度	当 初	21,752,000	1,288,394	5.9
	決 算	25,821,543	1,353,627	5.2
4 年 度	当 初	23,867,000	1,049,659	4.4
	決 算	25,361,353	965,648	3.8
5 年 度	当 初	25,120,000	1,045,438	4.2
	決 算	—————	—————	—————
6 年 度	当 初	26,013,000	1,117,441	4.3
	決 算	—————	—————	—————
令和6年度当初予算 消防費の内訳		常 備 消 防 費	861,372	77.1
		非 常 備 消 防 費	64,922	5.8
		消 防 施 設 費	161,038	14.4
		災 害 対 策 費	30,109	2.7

(2) 年度別消防当初予算に対する住民の平均負担額

区分 年度	消 防 費 (千円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	平均負担額 (円)	
				市民1人当り	1世帯当り
2 年 度	975,830	59,920	27,247	16,286	35,814
3 年 度	1,288,394	58,614	27,133	21,981	47,484
4 年 度	1,049,659	56,998	26,706	18,416	39,304
5 年 度	1,045,438	55,823	26,751	18,728	39,080
6 年 度	1,117,441	54,646	26,717	20,449	41,825

※各年度4月1日の住民基本台帳人口

(3) 年度別消防費（当初）節別内訳

（単位：千円）

目	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 常 備 消 防 費	2. 給料	404,788	405,942	406,371	412,530	410,769
	3. 職員手当等	265,925	260,475	253,171	260,972	270,120
	4. 共済費	139,242	138,424	139,864	134,160	134,730
	7. 報償費	2	2	2	2	2
	8. 旅費	388	746	574	747	620
	10. 需用費	18,361	21,846	25,951	32,978	29,496
	11. 役務費	4,378	4,280	3,704	4,114	3,653
	12. 委託料	2,500	1,951	3,400	3,051	3,126
	13. 使用料及び賃借料	2,207	2,185	1,909	1,863	2,130
	17. 備品購入費	3,432	1,174	7,366	2,256	1,152
	18. 負担金、補助及び交付金	2,033	2,617	5,183	2,994	5,108
	26. 公課費	449	615	454	617	466
	小計	843,705	840,257	847,949	856,284	861,372
2 非 常 備 消 防 費	1. 報酬	15,601	14,866	14,491	38,825	37,332
	8. 旅費	9,720	9,220	8,910	2,016	2,002
	10. 需用費	6,020	6,660	6,123	6,541	6,657
	11. 役務費	1,878	1,853	1,854	1,850	1,806
	13. 使用料及び賃借料	77	77	77	77	91
	17. 備品購入費	1,463	2,928	1,885	2,271	2,215
	18. 負担金、補助及び交付金	14,381	14,375	14,354	14,350	14,191
	26. 公課費	573	796	669	834	628
	小計	49,713	50,775	48,363	66,764	64,922

目	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	節						
3 消 防 施 設 費	11．役 務 費		8	11	9	104	283
	12．委 託 料		4,090	4,090	7,979	4,596	10,013
	13．使 用 料 及 び 賃 借 料		2,670	2,621	2,621	1,311	
	14．工 事 請 負 費			15,200	85,989	34,077	
	17．備 品 購 入 費		35,238	71,586	238	7,713	69,795
	18．負担金、補助及び交付金		23,671	30,146	31,466	39,264	80,947
	小 計		65,677	123,654	128,302	87,065	161,038
4 災 害 対 策 費	1．報 酬		50	55	55	55	55
	7．報 償 費				39	39	39
	8．旅 費		38	38	35	35	35
	10．需 用 費		3,630	2,874	4,784	6,737	6,011
	11．役 務 費		1,360	1,371	1,723	514	1,051
	12．委 託 料		7,461	4,398	16,702	9,346	9,309
	13．使 用 料 及 び 賃 借 料		443	443	596	736	609
	14．工 事 請 負 費		3,600	264,377		5,253	8,839
	17．備 品 購 入 費						1,294
	18．負担金、補助及び交付金		141	141	1,100	12,600	2,858
	24．積 立 金		12	11	11	10	9
	小 計		16,735	273,708	25,045	35,325	30,109
合 計			975,830	1,288,394	1,049,659	1,045,438	1,117,441

予

防

広報活動状況

令和5年中

区 分	対 象	回 数	備 考
防 火 研 修 会	団 体	16	企業、事業所等で実施
街 頭 宣 伝	一 般 市 民	2	防火デー、火災予防運動期間中に実施
訓 練 指 導	各 事 業 所	60	防火訓練及び消火器取扱い指導
防 火 映 画	市 民 ・ 団 体	3	火災予防、防火映画の上映

予防関係各種届出等状況

令和5年中

種 別	件 数
圧縮アセチレンガス等貯蔵または取扱いの開始（廃止）届	10
危険物製造所等譲渡引渡届	1
危険物製造所等品名、数量または指定数量の倍数変更届	1
危険物製造所等廃止届	10
危険物保安監督者選任・解任届	18
予防規程制定・変更認可申請	12
移動タンク貯蔵所変更許可通知書(他行政庁への転出)	0
危険物製造所等許可取下げ	0
禁止行為の解除承認申請	7
防火対象物使用開始届	37
火を使用する設備等の設置届	6
燃料電池発電・変電・急速充電・発電・蓄電池設備設置届	14
火災とまぎらわしい煙または火炎を発するおそれのある行為の届	38
煙火打上げ・仕掛け届	7
催物開催届	1
露店等の開設を伴う催し開催届	31
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い届	8
消防計画作成（変更）届	114
防火管理者選任（解任）届	79
防災管理者選任（解任）届	1
消防訓練実施届	339
自衛消防組織設置（変更）届	0
消防用設備等設置届	75
り災証明書交付申請	13
合 計	822

消防法に定める防火対象物の数

令和5年12月31日現在

防火対象物の別	消防用設備を必要とする対象物（17条対象物）	防火管理者の選任を必要とする対象物（8条対象物）
劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2
公会堂、集会場	19	19
キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0	0
遊技場、ダンスホール	3	3
性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0
まんが喫茶・個室ビデオ・カラオケボックス	1	1
待合、料理店の類	0	0
飲食店	86	51
百貨店、マーケット、物品販売業	102	52
旅館、ホテル、宿泊所の類	56	39
寄宿舍、下宿、共同住宅	293	68
病院、診療所、助産所	43	16
老人ホーム	22	22
保育園、デイサービス	62	32
幼稚園、特別支援学校	6	6
小学校、中学校、高等学校、各種学校の類	82	82
図書館、博物館、美術館の類	3	2
蒸気浴場、熱気浴場の類	0	0
公衆浴場	2	0
車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	1	1
神社、寺院、教会の類	40	17
工場、作業場	390	204
自動車車庫、駐車場	19	6
倉庫	339	103
上記に該当しない事業場	426	103
複合用途（特定防火対象物）	174	33
上記以外の複合用途	65	4
重要文化財	4	0
アーケード	7	0
合 計	2,247	866

危険物規制対象

(1) 危険物製造所等の数

令和5年12月31日現在

年 別 製造所等の別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
製 造 所	1	1	1	1	1
屋 内 貯 蔵 所	16	16	15	15	16
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	41	41	37	37	37
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	11	11	11	11	11
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	41	41	40	38	36
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	57	58	59	60	56
屋 外 貯 蔵 所					
給 油 取 扱 所	55	53	50	50	50
一 般 取 扱 所	46	48	46	47	45
計	268	269	259	259	252

(2) 危険物施設の許可完成検査等の数

令和5年中

区 分 製造所等の別	許 可		完成検査		廃 止
	設 置	変 更	設 置	変 更	
製 造 所					
屋 内 貯 蔵 所	1		1		
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		2		1	
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所					
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		2		2	2
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	3	1	2	1	7
屋 外 貯 蔵 所					
給 油 取 扱 所		14		12	
第 1 種 販 売 取 扱 所					
第 2 種 販 売 取 扱 所					
移 送 取 扱 所					
一 般 取 扱 所		2		1	1
計	4	21	3	17	10

消防法に定める消防同意

(1) 月別消防同意件数

令和5年中

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
確認申請	4	4	9	2	1	5	4	7	5	4	3	5	53
計画通知			1		1					1	1		4
計画変更		1					3	1	1				6
許可申請							1						1
その他													0
計	4	5	10	2	2	5	8	8	6	5	4	5	64

(2) 年別消防同意件数

年 別 区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
確 認 申 請	55	44	75	62	53
計 画 通 知	2			2	4
計 画 変 更	6	5	8	7	6
許 可 申 請	1			1	1
そ の 他					
計	64	49	83	72	64

(3)年別、業態別消防同意件数

年 別 防火対象物の別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
劇場、映画館、演芸場、観覧場					
公会堂、集会場					1
キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					
遊技場、ダンスホール					1
性風俗関連特殊営業を営む店舗の類					
まんが喫茶・個室ビデオ					
待合、料理店の類					
飲食店	1			2	1
百貨店、マーケット、物品販売業				2	3
旅館、ホテル、宿泊所の類		1	1	1	1
寄宿舍、下宿、共同住宅	6	4	6	1	1
病院、診療所、助産所				2	
老人ホーム	2	1			
保育園、デイサービス	3	1			1
幼稚園、特別支援学校					
小学校、中学校、高等学校、各種学校の類					
図書館、博物館、美術館の類					
蒸気浴場、熱気浴場の類					
公衆浴場					
車両の停車場、船舶又は航空機の発着場					
神社、寺院、教会の類		2			1
工場、作業場	5	1	5	2	4
自動車車庫、駐車場				1	1
倉庫	10	4	17	9	5
上記に該当しない事業場	14	10	10	9	7
複合用途防火対象物	1		1	2	
一般住宅	8	12	27	14	14
その他	14	13	16	27	23
計	64	49	83	72	64

警

防

車両等の配置状況

令和6年4月1日現在

種 別 配置別		ポン プ 自 動 車	水 槽 自 動 付 車	梯 子 車	化 学 車	救 助 工 作 車	小 型 ポン プ 付 積 載 力 車	高 規 格 救 急 車	広 報 車	資 機 材 搬 送 車	乗 用 車	連 絡 車	ワ ゴン 車	多 機 能 型 消 防 車	防 災 活 動 車	計
消 防 本 部									1		1					2
消 防 署	本 署	2		1	1	1		2		1		1	1			10
	東 部 分 署	1	1					1								3
	西 部 分 署	1	1					1								3
消 防 団		18					18							1	1	38
計		22	2	1	1	1	18	4	1	1	1	1	1	1	1	56

配置車両等の内訳（本部・署）

令和6年4月1日現在

区分 配置別		種 別	車 名	型 式	年 式	馬 力	級別・ポンプ型式	購 入 年 月 日
消 防 本 部		広 報 車	日産 キャラバン	3BF-VR2E26	R5	130	—	R5. 3. 18
		乗 用 車	トヨタ プリウス	DAA-ZVW30	27	82	—	R4. 7. 1 (2年再リース)
消 防 署	本 署	梯 子 車	日産 ディーゼル	FJ552LN	12	400	—	H12. 11. 15
		化 学 車	日野 レンジャー	2KG- GX2ABA	R3	235	A2級・1段ポリュート	R4. 3. 14
		ポ ン プ 車	日野 デュトロ	SKG- XZU640M	23	150	A2級・2段タービン	H24. 3. 26
		ポ ン プ 車	日野 デュトロ	TKG- XZU640M	30	150	A2級・3段タービン	H30. 1. 9
		救 助 工 作 車	日野 レンジャー	BDG- GX7JGWA改	22	220	—	H22. 2. 3
		高規格救急車	日 産	CBF- FPEGE50改	23	180	—	H23. 1. 21
		高規格救急車	ト ヨ タ	CBF- TRH-226S	30	151	—	H30. 11. 2
		資機材搬送車	いすゞ エルフ	TRG- NPR85AN	28	150	—	H28. 12. 27
		ワ ゴ ン 車	トヨタ ハイエース	CBA- TRH214W	25	151	—	R4. 3. 1 (2年再リース)
		連 絡 車	ダイハツ	ABA- S231G	26	64	—	R3. 7. 1 (2年再リース)
	東 部 署	水 槽 付 ポ ン プ 車	日野 レンジャー	SDG- GX7JGAA改	25	240	A2級・3段タービン	H26. 3. 24
		ポ ン プ 車	三菱 キャンター	KK- FE53EC改	14	114	A2級・2段タービン	H14. 1. 24
		高規格救急車	ト ヨ タ	3BF- TRH226S	R2	151	—	R2. 12. 18
	西 部 署	水 槽 付 ポ ン プ 車	いすゞ フォワード	KK- FSR33G4V改	16	225	A2級・3段タービン	H16. 2. 27
		ポ ン プ 車	日野 デュトロ	TPG- XZU640M	31	150	A2級・3段タービン	H31. 3. 20
		高規格救急車	ト ヨ タ	CBF- TRH226S	26	151	—	H27. 3. 10

消防団人員・車両等配置表

令和6年4月1日現在

区分 分団別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	受 持 区 域	配 置 車 両 等
団本部	1	4	3					8	銚子市全域	多機能車 1 台 防災活動車 1 台
第 1 分団			1	1	4	8	31	45	外川町、外川台町、犬吠埼、犬若、天王台、長崎町、高神東町、高神西町、小畑町、君ヶ浜、名洗町、高神原町、小畑新町、潮見町	自動車 1 台 積載車 3 台
第 2 分団			1	1	6	12	36	56	東町、浜町、飯沼町、馬場町、南町、陣屋町、前宿町、田中町、内浜町、清水町、愛宕町、橋本町、竹町、新地町、和田町、幸町、弥生町、後飯町、本町、榊町、植松町、仲町、通町、港町、明神町、川口町、笠上町、黒生町、海鹿島町	自動車 3 台 積載車 3 台
第 3 分団			1	1	6	12	43	63	新生町、末広町、東芝町、双葉町、中央町、西芝町、大橋町、若宮町、三軒町、唐子町、妙見町、台町、清川町、栄町、東小川町、西小川町、南小川町、北小川町、春日町、春日台町、上野町、三崎町、八幡町、栗島町、松岸見晴台	自動車 6 台
第 5 分団			1	1	2	4	7	15	松本町、本城町、今宮町、長塚町	自動車 3 台
第 6 分団			1	1	5	10	29	46	松岸町、垣根町、高野町、四日市場町、四日市場台、柴崎町、余山町、三宅町、赤塚町、垣根見晴台、新町	自動車 1 台 積載車 4 台
第 7 分団								0	高田町、芦崎町、三門町、船木町、白石町、中島町、岡野台町、正明寺町	自動車 2 台 積載車 1 台
第 8 分団			1	1	3	6	22	33	野尻町、小船木町、塚本町、忍町、猿田町、茶畑町	自動車 1 台 積載車 3 台
第 9 分団			1	1	3	6	18	29	富川町、森戸町、笹本町、桜井町、諸持町、宮原町、豊里台	自動車 1 台 積載車 2 台
第 1 0 分団			1	1	2	4	6	14	八木町、小浜町、親田町、常世田町	積載車 2 台
第 1 1 分団			1	2			28	31	銚子市全域	
機能別消防団							29	29		
合計	1	4	12	10	31	62	249	369		自動車 1 8 台 積載車 1 8 台 多機能車 1 台 防災活動車 1 台

配置車両等の内訳（団）

令和6年4月1日現在

区分 配置別		種 別	車 名	型 式	馬 力	級別・ポンプ型式	購入年月日
消防団本部		多機能型消防車両	いすゞ エルフ	BKG-NHS85A	110		H23. 1. 12
		小 型 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	VF63AS	22	B3級・1段タービン	〃
		防 災 活 動 車	三菱 デリカ	DBA-CV5W	148		H29. 11. 29
第1分団	第1部	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	TPG- XZU600E	150	A2級・3段タービン	H31. 2. 13
	第2部	積 載 車	日産 アトラス	GE-SH2F23	120		H11. 10. 26
		小 型 ポ ン プ	ラビット	P-476S	57	B3級・1段タービン	〃
	第3部	積 載 車	日産 アトラス	CBF-SQ1F24	130		H25. 1. 8
		小 型 ポ ン プ	ラビット	P-477	43	B3級・1段タービン	〃
	第4部	積 載 車	日産 アトラス	TC-SH2F23	120		H15. 11. 7
		小 型 ポ ン プ	ラビット	P-476AS	57	B3級・1段タービン	〃
第2分団	第1部	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	TKG- XZU600E	150	A2級・2段タービン	H27. 3. 17
	第2部	〃	三菱 キャンター	KK- FE73ECY	155	A2級・3段タービン	H16. 2. 27
	第3部	積 載 車	日産 アトラス	GE-SH4F23	120		H14. 10. 1
		小 型 ポ ン プ	ラビット	P-476AS	57	B3級・1段タービン	〃
	第4部	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	BDG- XZU334M	150	A2級・2段タービン	H22. 2. 25
	第6部	積 載 車	日産 アトラス	TC-SH2F23	120		H15. 11. 7
		小 型 ポ ン プ	ラビット	P-476AS	57	B3級・1段タービン	〃
	第7部	積 載 車	日産 アトラス	CBF-SQ1F24	130		H31. 3. 15
		小 型 ポ ン プ	シバウラ	P477	43	B3級・1段タービン	〃

第3分団	第1部	消防ポンプ自動車	三菱 キャンター	KK-FE53EC改	114	A2級・2段タービン	H13. 12. 21
	第2部	〃	日野 デュトロ	TKG- XZU640M	150	A2級・2段タービン	H26. 3. 20
	第3部	〃	日野 デュトロ	SKG- XZU640M	150	A2級・2段タービン	H24. 3. 28
	第4部	〃	日野 デュトロ	TKG- XZU640M	150	A2級・2段タービン	H26. 3. 20
	第5部	〃	日野 デュトロ	TKG- XZU640M	150	A2級・2段タービン	H25. 3. 7
	第6部	〃	日野 デュトロ	BDG- XZU334M	150	A2級・2段タービン	H20. 1. 25
第5分団	第1部	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	PD-XZU334M	150	A2級・2段タービン	H18. 3. 23
	第2部	〃	日野 デュトロ	TKG- XZU600E	150	A2級・3段タービン	H29. 3. 28
	第3部	〃	日野 デュトロ	BDG- XZU334M	150	A2級・2段タービン	H23. 2. 28
第6分団	第1部	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	SKG- XZU640M	150	A2級・2段タービン	H24. 3. 28
	第2部	積載車	日産 アトラス	CBF-SQ1F24	130		H27. 3. 19
		小型ポンプ	ラビット	P-477	43	B3級・1段タービン	〃
	第3部	積載車	日産 アトラス	CBF-SQ1F24	130		H25. 1. 8
		小型ポンプ	ラビット	P-477	43	B3級・1段タービン	〃
	第4部	積載車	日産 アトラス	CBF-SQ1F24	130		H30. 3. 14
		小型ポンプ	トーハツ	VC62BS	41	B3級・1段タービン	〃
	第5部	積載車	日産 アトラス	CBF-SQ1F24	96		H22. 12. 15
		小型ポンプ	ラビット	P-477	46	B3級・1段タービン	〃
第7分団	第1部	消防ポンプ自動車	日野 デュトロ	BDG- XZU334M	150	A2級・2段タービン	H21. 1. 23
	第2部	〃	日野 デュトロ	TKG- XZU640M	150	A2級・2段タービン	H25. 3. 7
	第3部	積載車	日産 アトラス	GB-SK2F23	96		H23. 12. 8
		小型ポンプ	トーハツ	VC62PRO II	43	B3級・1段タービン	〃
	第4部						

第8分団	第1部	消防ポンプ自動車	日野デュトロ	TPG-XZU600E	150	A2級・3段タービン	H30. 1. 11
	第2部	積載車	日産アトラス	CBF-SQ1F24	130		H30. 3. 14
		小型ポンプ	トーハツ	VC62BS	41	B3級・1段タービン	〃
	第4部	積載車	日産アトラス	CBF-SQ1F24	130		H29. 2. 17
		小型ポンプ	シバウラ	FF450AS	43	B3級・1段タービン	〃
	第5部	積載車	日産アトラス	GE-SH4F23	120		H14. 10. 1
		小型ポンプ	ラビット	P-476AS	57	B3級・1段タービン	〃
	第1部	消防ポンプ自動車	日野デュトロ	TKG-XZU600E	150	A2級・3段タービン	H29. 3. 28
第9分団	第2部	積載車	日産アトラス	CBF-SQ1F24	130		H31. 3. 15
		小型ポンプ	シバウラ	P477	43	B3級・1段タービン	〃
	第3部	積載車	日産アトラス	GE-SH2F23	120		H11. 10. 26
		小型ポンプ	ラビット	P-476S	57	B3級・1段タービン	〃
	第1部						
第10分団	第2部	積載車	日産アトラス	TC-SH2F23	120		H16. 12. 1
		小型ポンプ	ラビット	P-476AS	57	B3級・1段タービン	〃
	第3部	積載車	日産アトラス	GE-SH4F23	120		H13. 10. 11
		小型ポンプ	ラビット	P-476S	57	B3級・1段タービン	〃
	第1部						

消 防 水 利

令和6年4月1日現在

	消火栓	防火水槽	プール	河川	濠	池	海
公設	1,229	193					
私設	35	43					
その他			24	35	1	4	5
計	1,264	236	24	35	1	4	5

公設消火栓取付配水管口径及び口数

配水管口径	600mm	500mm	450mm	400mm	350mm	300mm	250mm	200mm	150mm	100mm	75mm	計
公設消火栓		23	7	5	9	48	66	125	316	308	322	1,229
単口		23	5	5	7	20	55	107	306	308	322	1,158
双口			2		2	28	11	18	10			71

配水管口径	600mm	500mm	450mm	400mm	350mm	300mm	250mm	200mm	150mm	100mm	80mm	75mm	計
私設消火栓										23		12	35
単口										23		12	35
双口													0

防火水槽容量

	20m ³ 未満	20m ³ 以上	30m ³ 以上	40m ³ 以上	50m ³ 以上	60m ³ 以上	70m ³ 以上	80m ³ 以上	90m ³ 以上	100m ³ 以上	計
公設	18	26	38	88	10	7	2		2	2	193
私設		1	2	29	3	1				7	43
計	18	27	40	117	13	8	2	0	2	9	236

市内中高層建築物一覧表

令和6年4月1日

階数	棟数	階数	棟数
4階	95	8階	3
5階	28	9階	1
6階	8	10階	2
7階	4	13階	1
		合計	142

(5 階)

1	青少年文化会館	15	たむら記念病院
2	本城県営住宅	16	財務省銚子第一住宅
3	細井化学工業硫黄工場	17	財務省銚子第二住宅
4	かがわビル	18	ヤマサ醤油第一工場 調味品詰工場
5	森ビル	19	ヤマサ醤油第二工場 食品第2工場
6	大谷津県営住宅 1号棟	20	ホテルサンライズ銚子
7	〃 2号棟	21	グランドールヒルズ
8	〃 3号棟	22	レインボーヒルズカントリークラブ ホテルバレンシア
9	〃 4号棟	23	山口不動産ビル
10	〃 5号棟	24	大樹不動産銚子駅前ビル
11	新橋ビル	25	ヒゲタ醤油No.4工場
12	銚子ロイヤルハイツ	26	蔵元ビル
13	銚子商工会館	27	MGM銚子店
14	島田総合病院	28	銚子商工信用組合本店

(6 階)

1	NTT東日本銚子営業所
2	内田病院
3	岡根ビル
4	和田町マンション
5	グランデニューカースル
6	ケアハウスマリンピア銚子
7	損保ジャパンパートナーズ
8	東総地区クリーンセンター

(7 階)

1	ヤマサ醤油第一工場 調味品第1工場
2	ホテルサンサニー
3	ホテルニュー大新
4	銚子プラザホテル

(8 階)

1	銚子グランドホテル
2	銚子市役所
3	銚子信用金庫本店

(9 階)

1	マークポイント銚子
---	-----------

(1 0 階)

1	パインズマンション クロトーネ銚子
2	ホテルルートイン銚子駅西

(1 3 階)

1	マークタワー銚子銀座
---	------------

(特殊建築物)

1	銚子ポートタワー
---	----------

(建築基準法上：4階・消防法上：14階)

火災統計

(1) 年別火災概要

内訳 年別	火災 件数	焼損 棟数	焼損面積			損害額 (円)
			建物床 面積㎡	建物表 面積㎡	林野 a	
令和元年	20	26	1,271	303	0	54,583,000
令和2年	14	10	151	2	0	5,818,000
令和3年	16	26	742	4	0	45,398,000
令和4年	15	17	304	191	0	18,264,000
令和5年	18	9	597	34	0	16,208,000

(2) 月別、種別毎の損害見積額

令和5年中

内訳 月	建物	林野	車両	船舶	その他	計	焼損面積			損害額 (円)
							建物床 面積㎡	建物表 面積㎡	林野 a	
1	2				1	3	511	34		7,246,000
2	1				1	2				191,000
3					3	3				0
4	1					1	37			6,983,000
5	2				1	3	49			1,124,000
6						0				0
7			1			1				96,000
8					1	1				549,000
9						0				0
10			1		2	3				19,000
11						0				0
12					1	1				0
計	6	0	2	0	10	18	597	34	0	16,208,000

(3) 火災前年比較

△印減

区 分	単位	令和5年 (A)	令和4年 (B)	増 減 (A) - (B)
出 火 件 数	件	18	15	3
建 物		6	11	△ 5
林 野		0	0	0
車 両		2	0	2
船 舶		0	0	0
そ の 他		10	4	6
焼 損 棟 数	棟	9	17	△ 8
全 焼		2	3	△ 1
半 焼		1	0	1
部 分 焼		4	4	0
ぼ や		2	10	△ 8
建物焼損床面積	m ²	597	304	293
建物焼損表面積	m ²	34	191	△ 157
林野焼損面積	a	0	0	0
死 者	人	0	0	0
負 傷 者	人	1	3	△ 2
り 災 世 帯 数	世帯	6	10	△ 4
り 災 人 員	人	11	29	△ 18
損 害 額	円	16,208,000	18,264,000	△ 2,056,000
建 物		15,338,000	18,264,000	△ 2,926,000
林 野		0	0	0
車 両		115,000	0	115,000
船 舶		0	0	0
そ の 他		755,000	0	755,000
爆 発		0	0	0

(4) 建物焼損棟数面積

令和5年中

程度 区分		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計
住 家	棟 数	1	1	2	2	6
	焼損床面積(㎡)	50	37			87
	焼損表面積(㎡)			32		32
非住家	棟 数	1		2		3
	焼損床面積(㎡)	461		49		510
	焼損表面積(㎡)			2		2
計	棟 数	2	1	4	2	9
	焼損床面積(㎡)	511	37	49	0	597
	焼損表面積(㎡)	0	0	34	0	34

(5) 年別火災原因別件数

年別 原因別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
たばこ	1		2		
こんろ	1	2			2
風呂かまど				1	
ストーブ					2
電気機器		2	2	3	2
電気配線	5	3	4	3	1
火遊び				1	
焼却火	2	2	4		6
溶接機・切断機	1			1	
放火(疑含む)	4		2	3	3
上記火災原因以外に分類されるもの	5	4	2	3	2
不明	1	1			
計	20	14	16	15	18

(6) 過去5年間町内別火災発生状況

年別 町名	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	年別 町名	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
長 崎						後 飯			1		
犬 吠 埼				2		港					
天 王 台						本					
外 川	2					内 浜					
外 川 台						竹					
小 畑						和 田					
高 神 東	1					田 中					1
高 神 西	1	1				浜					
潮 見						新 地					
名 洗						東					
小 畑 新				2		飯 沼					
君 ケ 浜		1				新 生		1		1	
犬 若						馬 場					
川 口	1			1		南					
明 神						前 宿					
植 松					1	東 小 川					
幸			1			南 小 川				1	
弥 生	1					陣 屋					
笠 上	1				2	西 小 川					
黒 生	1					北 小 川				1	1
海 鹿 島						栗 島					
愛 宕						高 神 原					
清 水					1	双 葉					
通						中 央			2		
仲						末 広					
橋 本	1	1				東 芝		1			
榊					1	妙 見					

町名 \ 年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	町名 \ 年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
西 芝						高 野					
若 宮						三 宅			1		
大 橋			1			赤 塚					
三 軒						余 山					1
唐 子		1				岡 野 台	1		1		
栄					1	高 田		1			1
台			1			芦 崎					
春 日	2	1		2		三 門					
上 野		1				中 島					
春 日 台						正 明 寺					
三 崎		1			2	船 木		1	1		
清 川		1				新					
八 幡						野 尻	1	1			
小 浜	2	1	1		1	小 船 木			1		1
親 田						塚 本					
八 木						忍					
常 世 田			1			長 山					1
今 宮						小 長					1
松 本			1	1		猿 田			1		
本 城	1					白 石					
長 塚	2			3		茶 畑					
松 岸						富 川					
松岸見晴台						森 戸				1	
垣 根						笹 本					1
垣根見晴台						桜 井					
四日市場			1			諸 持			1		
四日市場台						宮 原					
柴 崎					1	豊 里 台	2				

(7) 過去5年間業種別火災発生件数

区分		年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1	イ	劇場					
	ロ	公会堂					
2	イ	キャバレー					
	ロ	遊技場					
	ハ	風俗営業店					
	ニ	個室型店舗等					
3	イ	料理店					
	ロ	飲食店					
4		百貨店・マーケット					
5	イ	旅館・ホテル				1	
	ロ	共同住宅	1	1	1	1	1
6	イ	病院					
	ロ	福祉施設（重度入所施設）					
	ハ	福祉施設（上記以外の施設）					
	ニ	幼稚園					
7		小・中・高等学校					
8		図書館					
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場					
	ロ	公衆浴場					
10		停車場					
11		神社・寺院					
12	イ	工場・作業場	3		1	2	2
	ロ	スタジオ					
13	イ	車庫					
	ロ	格納庫					
14		倉庫	1		1		
15		前各項に該当しない事業場		1			
16	イ	複合用途（特定用途含む）		1	1	1	
	ロ	複合用途（上記以外）	1				
山林原野							
車両			2	2			2
船舶				1	1		
一般住宅			5	4	6	5	3
物置				1	1	1	
その他			7	3	4	4	10
計			20	14	16	15	18

(8)出火原因別、時間別調査表

令和5年中

時 間 別	合 計	原 因 別											
		た ば こ	こ ん ろ	風 呂 か ま ど	ス ト ー ブ	電 気 機 器	電 気 配 線	火 遊 び	焼 却 火	溶 接 機 ・ 切 断 機	放 火 (疑 含 む)	左 記 火 災 原 因 以 外 に 分 類 さ れ る も の	不 明
0～	0												
1～	2								1		1		
2～	0												
3～	3		1		1	1							
4～	0												
5～	0												
6～	0												
7～	2											2	
8～	0												
9～	0												
10～	3				1		1				1		
11～	0												
12～	1								1				
13～	2								2				
14～	1		1										
15～	3								2		1		
16～	0												
17～	0												
18～	0												
19～	0												
20～	0												
21～	1					1							
22～	0												
23～	0												
不明	0												
合計	18	0	2	0	2	2	1	0	6	0	3	2	0

(9)原因別火災発生順位

順位 年別	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
令和元年	電気配線	放火（疑含む）	焼却火	たばこ こんろ 溶接機・切断機 外	
令和2年	電気配線	焼却火 電気機器 こんろ 外			
令和3年	焼却火 電気配線		たばこ 放火（疑含む） 電気機器 外		
令和4年	電気機器 電気配線 放火（疑含む） 外				
令和5年	焼却火	放火（疑含む）	こんろ ストーブ 電気機器		

救

急

救

助

救 急

(1) 年別救急活動状況

令和5年中

区 分 年 別	出 動 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	種 別	事 故 種 別										
					火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
令和元年	2,846	2,572	2,597	件	12		6	204	33	13	399	16	27	1,756	380
				人	5		2	209	31	13	377	13	11	1,612	324
令和2年	2,583	2,276	2,317	件	8		11	171	27	10	369	15	16	1,635	321
				人			8	190	27	10	348	18	9	1,472	235
令和3年	2,711	2,478	2,496	件	12	1	6	183	33	10	372	5	29	1,737	323
				人	6	1	1	183	32	9	357	4	17	1,605	281
令和4年	3,115	2,802	2,821	件	5		7	179	31	10	425	13	25	2,074	346
				人	3		1	181	31	10	414	12	19	1,890	260
令和5年	3,285	2,968	2,994	件	5		14	156	33	20	434	15	15	2,265	328
				人	1		6	158	33	20	407	12	12	2,080	265

(2) 月別救急活動状況

令和5年中

月 別	出 動 件 数	事 故 種 別											搬 送 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員		
		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ			男	女	計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の					
		件	災	件	件	件	件	負	件	行	件	他			人	人	人
合 計	3,285	5		14	156	33	20	434	15	15	2,265	328	2,968	317	1,517	1,477	2,994
1月	331	2			13	1	1	40	1		239	34	301	30	145	165	310
2月	230			1	6	2		24			166	31	207	23	119	91	210
3月	238				9	2	3	36	2	3	157	26	213	25	116	98	214
4月	240			1	13	8	1	21	2		170	24	223	17	105	118	223
5月	241	2		3	8	1	6	47	1	1	145	27	219	22	104	115	219
6月	269			3	16	2	2	41	1		174	30	246	23	127	119	246
7月	300			2	11		3	38	2	1	214	29	265	35	145	121	266
8月	352	1		1	17	2	1	44		1	256	29	313	39	143	173	316
9月	303				12	6		36		1	221	27	273	30	149	126	275
10月	257				18	4	1	33	2	4	171	24	240	17	120	124	244
11月	245				12	1		33		3	169	27	223	22	114	109	223
12月	279			3	21	4	2	41	4	1	183	20	245	34	130	118	248

(2)－1 本署救急隊活動状況

令和5年中

月 別	出 動 件 数	事 故 種 別											搬 送 人 員		
		火	自 然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	男	女	計
		災 件	災 害 件	難 件	通 件	働 災 害 件	動 競 技 件	般 負 傷 件	害 件	損 行 為 件	病 件	他 件	人	人	人
合 計	1,586	4		5	91	13	13	214	6	6	1,081	153	737	716	1,453
1月	159	2			7			21	1		110	18	62	92	154
2月	117				4			13			85	15	60	51	111
3月	114				5	2	2	16	1	1	71	16	51	52	103
4月	117			1	7	4	1	10			84	10	48	59	107
5月	126	2			5	1	5	26			78	9	58	59	117
6月	126			1	11			19	1		76	18	66	46	112
7月	144			1	5		3	20	2	1	99	13	69	58	127
8月	159			1	12	2		19			115	10	69	76	145
9月	148				8	1		15			110	14	79	61	140
10月	120				10	1	1	15		2	82	9	55	55	110
11月	116				6			19		2	77	12	55	52	107
12月	140			1	11	2	1	21	1		94	9	65	55	120

(2)－2 東部救急隊活動状況

令和5年中

月 別	出 動 件 数	事 故 種 別											搬 送 人 員		
		火	自 然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	男	女	計
		災 件	災 害 件	難 件	通 件	働 災 害 件	動 競 技 件	般 負 傷 件	害 件	損 行 為 件	病 件	他 件	人	人	人
合 計	1,073			6	38	12	2	143	6	6	750	110	498	490	988
1月	106				4	1	1	13			79	8	57	42	99
2月	68			1	2			6			51	8	34	27	61
3月	76				2			14	1	2	51	6	40	27	67
4月	84				2	4		10	1		58	9	39	42	81
5月	76			2	1			13	1		45	14	32	36	68
6月	90			1	4	1	1	16			64	3	38	49	87
7月	96				4			12			69	11	46	38	84
8月	123				2			15			91	15	49	63	112
9月	95				2	3		12		1	70	7	48	40	88
10月	97				6	2		15	2	1	60	11	47	50	97
11月	77				5			8		1	51	12	30	35	65
12月	85			2	4	1		9	1	1	61	6	38	41	79

(2)－3 西部救急隊活動状況

令和5年中

月 別	出 動 件 数	事 故 種 別											搬 送 人 員		
		火	自 然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	男	女	計
		災 件	災 害 件	難 件	通 件	働 災 害 件	動 競 技 件	般 負 傷 件	害 件	損 行 為 件	病 件	他 件	人	人	人
合 計	602	1		3	25	8	5	76	3	2	418	61	272	260	532
1月	61				2			5			46	8	25	28	53
2月	43					2		5			29	7	24	13	37
3月	48				2		1	6			35	4	25	19	44
4月	37				3			1	1		27	5	17	16	33
5月	38			1	2		1	8		1	21	4	13	20	33
6月	51			1	1	1	1	6			32	9	22	23	45
7月	58			1	2			6			44	5	28	25	53
8月	67	1			3		1	10		1	47	4	24	32	56
9月	59				2	2		9			41	5	21	25	46
10月	36				2	1		3			27	3	18	15	33
11月	52				1	1		6			41	3	29	22	51
12月	52				5	1	1	11	2		28	4	26	22	48

(2)－4 本署第二救急隊活動状況

令和5年中

月 別	出 動 件 数	事 故 種 別											搬 送 人 員		
		火	自 然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	男	女	計
		災 件	災 害 件	難 件	通 件	働 災 害 件	動 競 技 件	般 負 傷 件	害 件	損 行 為 件	病 件	他 件	人	人	人
合 計	24				2			1		1	16	4	10	11	21
1月	5							1			4		1	3	4
2月	2										1	1	1		1
3月															
4月	2				1						1		1	1	2
5月	1										1		1		1
6月	2										2		1	1	2
7月	2										2		2		2
8月	3										3		1	2	3
9月	1											1	1		1
10月	4									1	2	1		4	4
11月															
12月	2				1							1	1		1

(2) - 5 救急支援活動状況

令和5年中

月 別	出 動 件 数	事 故 種 別										
		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の
		件	害	件	件	害	技	傷	件	為	件	他
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
合 計	472			3	15	9		22	7	4	388	24
1 月	65				1			3	3		53	5
2 月	39					1					36	2
3 月	30				2			2	2		24	
4 月	39				1	2		3			30	3
5 月	23			2	2			3			16	
6 月	29					1		3			24	1
7 月	34				3			1	1		27	2
8 月	39				1	1		3			31	3
9 月	42					2					37	3
1 0 月	51				3	2		1		3	39	3
1 1 月	18				1						17	
1 2 月	63			1	1			3	1	1	54	2

(3) 事故別救護状況

令和5年中

項目 事故種別	出 動 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			程 度				
				男	女	計	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	そ の 他
合 計	3,285	2,968	317	1,517	1,477	2,994	1,268	1,395	284	47	
火 災	5	1	4	1		1		1			
自 然 災 害											
水 難	14	5	9	2	4	6	4			2	
交 通	156	140	16	84	74	158	125	30	2	1	
労 働 災 害	33	33		30	3	33	16	14	3		
運 動 競 技	20	19	1	15	5	20	17	3			
一 般 負 傷	434	407	27	163	244	407	237	161	7	2	
加 害	15	12	3	8	4	12	9	1	2		
自 損 行 為	15	12	3	3	9	12	4	7		1	
急 病	2,265	2,075	190	1,072	1,008	2,080	836	987	218	39	
そ の 他	328	264	64	139	126	265	20	191	52	2	

(4) 曜日別発生状況

令和5年中

曜日 事故種別	合 計	日	月	火	水	木	金	土
合 計	3,285	479	489	463	477	460	473	444
火 災	5		1		2		2	
自 然 災 害								
水 難	14	2	4	4	1	2	1	
交 通	156	19	16	21	20	40	16	24
労 働 災 害	33	2	7	1	7	7	4	5
運 動 競 技	20	3	3	1	3	3	1	6
一 般 負 傷	434	74	65	62	59	50	59	65
加 害	15	6	1	2		3	1	2
自 損 行 為	15	3	1		2	3	4	2
急 病	2,265	337	333	326	322	312	332	303
そ の 他	328	33	58	46	61	40	53	37

(5) 年齢別搬送人員状況

令和5年中

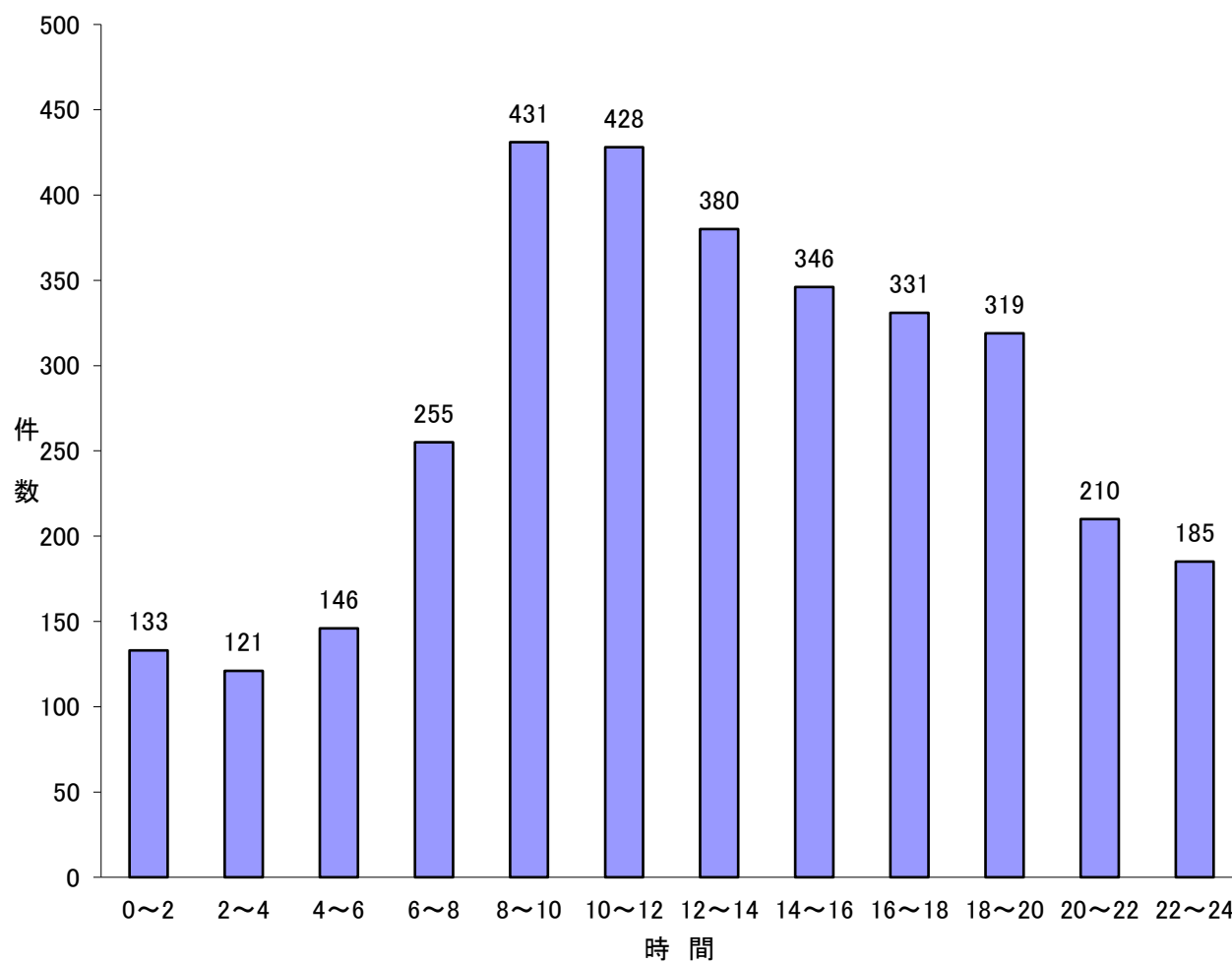
年 令 区 分	傷 病 程 度	事 故 種 別											
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新 生 児	死 亡												
	重 症												
	中 等 症												
	軽 症												
	そ の 他												
乳 幼 児	死 亡												
	重 症												
	中 等 症				1			2			23	2	28
	軽 症				4			8			48		60
	そ の 他												
少 年 成 人	死 亡												
	重 症										1		1
	中 等 症				1		3	1			16		21
	軽 症				12		14	7		1	20	1	55
	そ の 他												
高 齢 者 合 計	死 亡			2							2		4
	重 症					1		2	2		39	14	58
	中 等 症				13	11		23	1	7	216	31	302
	軽 症			4	76	13	3	48	5	2	265	1	417
	そ の 他												
合 計	死 亡				1			2		1	37	2	43
	重 症				2	2		5			178	38	225
	中 等 症	1			15	3		135			732	158	1,044
	軽 症				33	3		174	4	1	503	18	736
	そ の 他												
計	死 亡			2	1			2		1	39	2	47
	重 症				2	3		7	2		218	52	284
	中 等 症	1			30	14	3	161	1	7	987	191	1,395
	軽 症			4	125	16	17	237	9	4	836	20	1,268
	そ の 他												

※ 新生児=生後28日以内 ・ 乳幼児=生後29日以上7歳未満

少年=7歳以上18歳未満 ・ 成人=18歳以上65歳未満 ・ 高齢者=65歳以上

(6) 時間別救急出動状況(覚知時刻)

令和5年中



(7) 救急病院

令和6年4月1日現在

名 称	所 在 地	病 床 数
島 田 総 合 病 院	東町5-3	185
た む ら 記 念 病 院	三崎町2丁目2609-1	167
銚 子 市 立 病 院	前宿町597	91

救 助

(1) 年別救助活動状況

年 別	出動区分	事 故 概 要									合 計
		火 災	交 事 通 故	水 事 難 故	自 災 事 故	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破 事 裂 故	その他	
平成 30年	出動件数	2	9	6		1	21	2		8	49
	活動件数	2	8	2		1	6			3	22
	救助人員		8	2		1	6			3	20
令和元 年	出動件数	1	12	7	4	2	14			7	47
	活動件数	1	3	4	4	1	8			4	25
	救助人員	1	3	4	5	1	8			4	26
令和2 年	出動件数		9	10			14			10	43
	活動件数		4	6			8			2	20
	救助人員		6	8			11			2	27
令和3 年	出動件数	1	11	5		1	12	1		12	43
	活動件数	1	4	3		1	5	1		4	19
	救助人員	2	5	3		1	5	1		4	21
令和4 年	出動件数		12	4		1	17			13	47
	活動件数		5	3		1	9			6	24
	救助人員		6	6		1	9			6	28
令和5 年	出動件数		9	10			16	2		10	47
	活動件数		6	6			6	1		5	24
	救助人員		7	8			8	3		5	31

(2) 救助活動状況

令和5年中

月 日	入電時刻	種 別	発生場所	救助人員	事 故 概 要
1 月 1 日	9 時 40 分	建物等による事故	長 塚 町	1 名	施錠された建物内で体動困難になり、通報したもの。
1 月 8 日	22 時 19 分	交 通 事 故	西 小 川 町	1 名	軽自動車の単独事故により、運転者が脱出不能となったもの。
2 月 11 日	9 時 2 分	建物等による事故	小 畑 新 町	1 名	建物が施錠されており、呼びかけに応答が無い為通報したもの。
3 月 6 日	17 時 43 分	建物等による事故	松 本 町	1 名	施錠された建物内で意識消失したもの。
3 月 24 日	8 時 3 分	水 難 事 故	清 川 町	1 名	川に人が倒れていると通行人から通報があったもの。
4 月 10 日	9 時 27 分	そ の 他 の 事 故	川 口 町	1 名	船舶に設置された魚艙に誤って転落したもの。
4 月 10 日	13 時 26 分	そ の 他 の 事 故	植 松 町	1 名	モルタル壁に人が挟まれていると通報があったもの。
5 月 2 日	19 時 24 分	水 難 事 故	新 地 町	1 名	普通乗用車が海に転落したもの。
5 月 11 日	11 時 48 分	建物等による事故	春 日 町	1 名	浴室内から出られないと通報があったもの。
6 月 15 日	16 時 56 分	交 通 事 故	新 町	1 名	軽トラックの単独事故により、運転者が脱出不能になったもの。
6 月 25 日	5 時 49 分	水 難 事 故	犬 吠 埼	1 名	犬吠埼灯台馬糞東側水面に、人が浮いているとの通報。
6 月 27 日	10 時 59 分	水 難 事 故	潮 見 町	1 名	ウェットスーツを着た人が仰向けで海面に浮いているとの通報。
7 月 9 日	18 時 59 分	そ の 他 の 事 故	川 口 町	1 名	ルアーの針が右足第5指の裏及び座席シートに刺さり、身動きがとれなくなったもの。
7 月 17 日	0 時 27 分	水 難 事 故	黒 生 町	2 名	誤って海に転落、更に1名が救出の為入水するも自力にて防波堤にさがれなくなったもの。
8 月 31 日	13 時 58 分	交 通 事 故	今 宮 町	1 名	軽自動車と普通乗用車の衝突事故により軽自動車が横転し運転者が脱出不能となったもの。
9 月 6 日	12 時 56 分	建物等による事故	犬 吠 埼	3 名	エレベーター内に閉じ込められたもの。
9 月 12 日	0 時 34 分	交 通 事 故	高 田 町	1 名	軽トラックが畑内に設置されている電柱の支線ワイヤーに衝突、運転者が脱出不能になったもの。

災

害

銚子市災害年表

慶長19. 10. 25 (1614)	銚子に津波来襲、飯沼観音境内後門に潮水侵入
元和 3. 4. 10 (1618) ～12	江戸火災、津波銚子飯沼に上がると伝えられる
寛永16. 2. 13 (1639)	大風雨あり、飯沼堂の下網中八兵衛屋敷下崖迄波打上げ、前田廟所迄川底づたいに飯貝根岡へ上がる
承応 3. 11. (1654)	大風大浪により飯貝根人家60軒流される（飯貝根崩れという）
明暦 2. 8. 22 (1656)	風浪の災あって百姓家15軒、旅館（漁人の宿舎）34軒流される
明暦 3. 1. 18 (1657) ～20	江戸大火、江戸城全焼（振袖火事）
10.	銚子に津波、人馬斃る
万治 3. 5. 5 (1660)	利根川洪水、下桜井、宮原等の耕地を浸し用水路等を破壊する
寛文 2. 6. 19 (1662)	銚子に津波来襲
寛文 7. (1667)	利根川出水あり、再び下桜井、宮原等の沿岸耕地を浸す
延宝 5. 10. 9 (1674)	津波がおき、笠上、飯沼に人畜の死傷を出す。千人塚の側に大池を現出。また、高神村に倒木1万本余。外川、長崎の漁船、民家大被害を蒙り、人畜に大きな被害を受ける
元禄 5. 7. 22 (1692)	大暴風雨あり、鰹船遭難、死者404人（この年関東諸国および奥州米穀不熟）
元禄15. (1702)	銚子に塩雨降る。竜巻か？
元禄16. 11. 23 (1703)	津波来襲し方々損し船付崩れ村中並に浦方の者共普請をなす

享保 5. 4. 24 (1720)	外川に大火あり、二百数十軒焼失（朝 7 ッ半時より外川新浦辺の方五郎右衛門納屋より出火。巽風にて家多く焼失、浜は七郎兵衛納屋、其の上は市郎兵衛納屋なりに留り、西の方上にて新納屋清兵衛残り、道より上角次衛門納屋残り、二百数十軒焼け、三十軒残る）
享保13. 1. 17 (1728)	外川に大火（7 ッ頃より明 6 ッ頃迄、外川火事）
宝暦11. 8. 17 (1761)	銚子に風津波
明和 3. 1. 28 (1766)	銚子に津波
安永 1. (1772)	銚子に風雨海嘯
天明 2. 7. (1782)	昼夜 3 日間砂雨降り、この年大飢饉
文化 4. 1. 16 (1807)	銚子新生に火事、4 7 軒焼く
文化11. 10. (1814)	4 ッ時荒野村明神町に大火
安政 4. 1. 23 (1857)	下総銚子地方に大風雨
明治13. 1. (1880)	飯沼観音境内の芝居小屋から出火、罹災約 6 0 戸
明治23. 10. 23 (1890)	新生建物火災、全焼 1 0 戸
明治25. 3. (1892)	松岸良福寺、仁王門のみ残し全焼
明治26. 4. 25 (1893)	銚子に小豆大の雹降る。田畑に被害
明治30. 10. (1897)	新生、浜宿に火災、約 1 9 戸焼失
明治36. 10. (1903)	高神村出戸の火災に賢徳寺その他約 3 5 戸焼失
明治43. 3. 12 (1910)	大風雪により漁船遭難 8 3 隻、漁夫 1, 0 5 5 人溺死

大正 8. 10. (1919)	本銚子町笠上の火災に罹災 2 3 棟
大正11. 4. (1922) 11.	外川町建物火災、住宅 6 棟全焼 竹町建物火災、7 棟全焼
大正12. 9. 1 (1923) 10. 12	関東大震災 銚子地方に降雹
大正15. 10. (1926)	南小川町川福寺ほか住宅全焼
昭和 7. 3. 31 (1932)	内浜町建物火災、全焼 6 棟
昭和 8. 3. 6 (1933)	東町建物火災、7 戸全半焼
昭和 9. 12. (1934)	銚子市仲町に火災、全半焼 6 0 戸
昭和10. 12. (1935)	川口町建物火災、7 棟全焼
昭和12. 9. 5 (1937)	若宮町建物（醤油工場）火災、4 棟全焼 1 棟半焼
昭和13. 3. (1938) 3. 17	通町建物（そば店）火災、住家 7 棟全焼（放火） 南町建物（浴場）火災、住家 7 棟全焼
昭和20. 3. 9 (1945)	戦災、第一次空襲により末広町、本通り付近被災、焼失戸数 1, 0 7 0 戸余、死傷者 2 1 0 人
7. 19	戦災、第二次空襲により市内中心部被災、焼失戸数 3, 7 6 6 戸、死傷者 1, 0 8 6 人
8. 1	戦災、第三次空襲により内浜町付近被災、焼失戸数 3 0 6 戸、死傷者 4 1 人
8. 5	戦災、第四次空襲により焼失戸数 2 8 戸、死傷者 1 2 人
昭和22. 9. 13 (1947) ～15	カスリン台風県下を襲う
10. 10	仲ノ町建物（醤油工場）火災、工場 2 棟全焼

昭和23. 9. 16 (1948)	アイオン台風襲来、罹災戸数3 1 8戸、罹災者1, 3 4 9人、死傷者2 3人 (災害救助法適用)
昭和24. 8. 30 (1949) 10. 27 ~28	キティ台風県下に襲来 パトリシア台風襲来、罹災戸数9 2戸、漁船沈没1 5隻
昭和25. 10. 31 (1950)	ルビー台風襲来、外川に津波おこり漁船沈没大破1 9隻、破損1 7 0隻
昭和27. 3. 25 (1952) 4. 7	外川町建物火災、全焼5棟 三崎町建物火災、全焼4棟、半焼1棟
昭和28. 3. 6 (1953)	八幡町建物（製樽工場）火災、7棟全焼
昭和29. 3. 30 (1954) 10. 2	東小川町建物火災、全焼4棟、半焼1棟 清川町 建物（浴場）火災、全焼5棟、半焼1棟、部分焼2棟
昭和30. 10. 18 (1955)	名洗、榊町、笠上・黒生地区に旋風おこり被災世帯7 2世帯、死者1人、負傷者1 0人、被災船舶4 0隻
昭和33. 4. 4 (1958)	松本町建物（造船所）火災、全焼3棟、部分焼3棟
昭和34. 1. 22 (1959) 11. 21	西芝町建物火災、全焼1棟、半焼2棟、部分焼2棟 飯沼町建物（店舗）火災、全焼1棟、半焼4棟、部分焼2棟、死者1人
昭和35. 2. 26 (1960) 3. 6 7. 10	通町建物火災、全焼3棟、半焼3棟、部分焼3棟 田中町建物火災、全焼2棟、部分焼3棟 末広町建物（店舗）火災、全焼1棟、半焼2棟、部分焼2棟
昭和42. 10. 28 (1967)	台風3 4号銚子・飯岡地方を襲い2 1 8戸全半壊
昭和43. 3. 7 (1968) 4. 10	清川町建物（製樽工場）火災、全焼9棟、部分焼2棟 八幡町建物（製樽工場）火災、全焼5棟、半焼1棟
昭和46. 8. 30 (1971) ~31	台風2 3号襲来、清川町地区に被害、床下浸水4 6世帯、道路一部冠水通行不能、水田冠水1 0 a

昭和46.	9. 7 ～ 8	台風25号襲来、瞬間最大風速49m、降雨量369.5mmを記録し、市内全域に被害が発生、死者10人、負傷者26人、住宅の全壊32棟、半壊52棟、一部損壊1,031棟、床上浸水571棟、床下浸水1,828棟、罹災世帯724世帯、道路決壊、崖崩れ、橋りょう損壊等戦後最大の台風被害(災害救助法適用)
	12. 12	通町 建物火災、全焼3等、部分焼6棟
昭和47.	6. 21	新生醤油第二工場(糟蔵火入れ場醤油沈殿槽)酸欠事故、死者4人、負傷者2人
(1972)	12. 24	銚子沖を通過した低気圧(台湾坊主)により宮原町、笹本町に崖崩れ、家屋全壊3棟、半壊1棟、一部損壊6棟、床上浸水26棟、床下浸水1,048棟、負傷者1人
昭和49.	6. 20	新生町建物(スーパー)火災、全焼6棟、半焼1棟、部分焼3棟
(1974)	7. 6	西芝町建物(遊技場)火災、全焼1棟、半焼2棟、部分焼2棟
昭和50.	9. 9	川口町に床下浸水約15戸
(1975)		
昭和51.	5. 12	末広町建築工事現場酸欠事故(軽傷4名)
(1976)		
昭和52.	1. 6	竹町小料理店ガス爆発事故(3戸大破、5戸小破、負傷者1人)
(1977)	5. 16	愛宕町建物(住宅)火災、全焼3棟、部分焼5棟
	9. 19	台風11号襲来、諸持町で土砂崩れ、猿田町で浸水
	11. 17	前線の活動による集中豪雨で後飯町、外川町4丁目に崖崩れ、橋本町、通町に床下浸水
	12. 1	四日市場町 水産加工場、アンモニアガスの漏洩事故(負傷者7名)
昭和53.	1. 27	幸町建物(住宅)火災、全焼2棟、半焼1棟、部分焼3棟
(1978)	3. 18	明神町建物(住宅)火災、全焼2棟、半焼1棟、部分焼3棟
昭和54.	1. 23	植松町建物(住宅)火災、全焼5棟、半焼1棟、部分焼3棟
(1979)	12. 29	浜町建物(飲食店)火災、全焼4棟、半焼1棟、部分焼1棟
昭和55.	1. 28	西芝町建物(飲食店)火災、全焼1棟、半焼1棟、部分焼1棟
昭和55.	5. 6	新生町1丁目中堤防岸壁船舶火災
(1980)	9. 2	芦崎町建物(店舗併用住宅)火災、全焼1棟

昭和56. (1981)	4. 10	外川町建物（店舗併用住宅）火災、全焼 2 棟、半焼 1 棟、部分焼 1 棟
昭和58. (1983)	3. 24	柴崎町建物（住宅）火災、全焼 2 棟、部分焼 1 棟
昭和60. (1985)	1. 6	唐子町建物（店舗併用倉庫）火災、全焼 1 棟、部分焼 1 棟
	3. 30	春日町建物（店舗併用住宅）火災、全焼 1 棟、部分焼 1 棟
昭和62. (1987)	6. 18	新町建物（作業場）火災、全焼 1 棟
	7. 23	川口町建物（倉庫）火災、全焼 1 棟、半焼 2 棟、部分焼 2 棟
	11. 21	西芝町建物（旅館併用飲食店）火災、半焼 1 棟、部分焼 2 棟
昭和63. (1988)	2. 20	栄町建物（住宅）火災、全焼 2 棟、部分焼 9 棟
	9. 26	前線の活動による集中豪雨で東小川町崖崩れ
	11. 24	川口町建物（作業所併用冷蔵庫）火災、半焼 1 棟、部分焼 2 棟
平成 1. (1989)	1. 23	春日町建物（住宅）火災、全焼 3 棟
平成 2. (1990)	1. 3	野尻町建物（学校）火災、校舎半焼 1 棟
	3. 30	若宮町建物（店舗併用住宅）火災、全焼 3 棟、部分焼 2 棟
	10. 23	南小川町建物（作業所）火災、全焼 2 棟、部分焼 7 棟
	12. 11	小畑町、海鹿島町、高神西町地域を竜巻が襲い、屋根瓦、塀等に被害
平成 3. (1991)	4. 29	新生町建物（製氷工場）火災、全焼 1 棟、部分焼 1 棟
	6. 17	松本町建物（住宅）火災、全焼 5 棟、部分焼 1 棟
	10. 11	台風 2 1 号の接近に伴う集中豪雨で犬吠埼床上浸水 3 棟、罹災 5 世帯、他に市内
	～ 13	各所で床下浸水 2 1 棟、崖崩れ 1 4 ヶ所、君ヶ浜護岸損壊の被害
平成 4. (1992)	10. 20	記録的な集中豪雨（1 時間雨量 6 2. 5 ミリ）で春日町（尾永井団地）、西小川町、清川町、本城町地域などで床上浸水 8 5 棟、罹災 8 8 世帯、他に市内各所で床下浸水 1 7 9 棟、崖崩れ 3 3 ヶ所、橋りょう損壊
平成 5. (1993)	5. 23	長塚町七ツ池一番池の堰が決壊し、土砂等が流出、床上浸水 3 棟、床下浸水 2 棟、一部損壊 1 棟、車両 3 台埋没

平成 7. 6. 24 (1995)	銚子電鉄本銚子駅東側において電車同士の衝突事故により、乗客、乗務員の7名が負傷
9. 17	台風12号の接近に伴い、瞬間最大風速46.9mを記録し、住宅の半壊4棟、一部損壊34棟、床上浸水1棟、罹災世帯39世帯、床下浸水22棟
平成 8. 9. 22 (1996)	台風17号の接近に伴い、瞬間最大風速51.9m、降雨量206mmを記録し、住宅の一部損壊58棟、床上浸水43棟、罹災世帯101世帯、床下浸水133棟、道路決壊107ヶ所、崖崩れ22ヶ所、橋りょう損壊
平成 9. 2. 18 (1997)	三門町建物（工場併用倉庫）火災、全焼1棟、半焼1棟
平成10. 6. 10 (1998)	後飯町建物（住宅）火災、全焼4棟、半焼1棟、部分焼1棟
平成11. 1. 19 (1999)	三軒町建物（住宅）火災、全焼3棟、部分焼2棟
平成12. 1. 12 (2000)	和田町建物（住宅）火災、全焼4棟、半焼1棟、部分焼1棟、ぼや2棟
平成14. 10. 1 (2002)	台風21号の接近に伴い、瞬間最大風速52.2mを記録し、避難勧告1世帯2人、自主避難5世帯9人、住宅の全壊1棟、半壊3棟、一部損壊10棟
12. 31	野尻町建物（住宅）火災、全焼5棟、半焼1棟、部分焼2棟、ぼや3棟
平成17. 11. 30 (2005)	竹町建物（住宅）火災、全焼2棟、部分焼3棟、ぼや3棟
平成20. 5. 18 (2008)	後飯町建物（住宅）火災、全焼1棟、死者3名
平成21. 3. 5 (2009)	愛宕町建物（住宅）火災、全焼4棟、部分焼1棟、ぼや1棟
平成23. 3. 11 (2011)	東日本大震災に伴う被災状況 銚子市の震度5強、津波2.5メートル（最大波） 住宅被害 全壊28棟、半壊103棟、一部損壊1,938棟、床上浸水10棟 重傷者2名、軽傷者17名
平成25. 2. 20 (2013)	高田町建物（住宅）火災、全焼6棟、部分焼3棟、ぼや2棟、死者1名
平成29. 12. 11 (2017)	大橋町建物（作業所併用住宅）火災、全焼1棟、部分焼1棟、ぼや1棟

令和元. 9. 9 (2019)	台風 1 5 号（房総半島台風）の接近に伴い、瞬間最大風速 4 0 . 4 mを記録し、 住宅の半壊 1 棟、一部損壊 2 2 2 棟
10. 12	台風 1 9 号（東日本台風）の接近に伴う集中豪雨により、住宅の床上浸水 2 5 件 床下浸水 6 9 件